

①広告主名 株式会社大修館書店	②著作物等の種類 言語の著作物
③著作物等の概要 『月刊言語』1972（昭和47）年4月号～1982（昭和57）年3月号掲載記事	
④連絡先 法人名 株式会社大修館書店 担当者名 山口隆志 住所 東京都文京区湯島 2-1-1 TEL 03-3868-2603 E-mail <a href="mailto:inquiry_dr@taishukan.co.jp">inquiry_dr@taishukan.co.jp</a>	
⑤詳細 <p>弊社がかつて刊行していた『月刊言語』1972年4月号～1982年3月号に掲載された著作物のうち、以下の一覧表に記載の著作物につきまして、著作権者を捜しています。</p> <p>ご存じの方がいらっしゃいましたら、お手数ですがご連絡くださいますようお願いいたします。</p>	

【ア行】						
No.	著作者名	著作物タイトル	サブタイトル	掲載号		
				西暦	月	巻
1	相磯裕	古典の本文批判と言語史		1978	11	7
2	饗庭孝典	言語戦争 インドの言葉・インドの心		1975	11	4
3	青井明	言語空間 読者のページ 顔を知られたのは誰か		1979	2	8
4	青木壽	言語圏α ことばの書架 歌・言葉・日本人	—歌謡曲、あ あ歌謡曲	1972	5	1
5	青木國夫	職人のことば 「なんば」と「からくり」		1980	4	9
6	青木五郎	辞書の世界 漢和辞典の使い方		1980	5	9
7	青木晴夫	消えてゆくことばを追って (上)		1974	1	3
8	青木晴夫	消えてゆくことばを追って (中)		1974	2	3
9	青木晴夫	消えてゆくことばを追って (下の一)		1974	3	3
10	青木晴夫	消えてゆくことばを追って (下の二・最終回)		1974	4	3
11	青木晴夫	言語学の最近の動向 「意味」と言語の構造	——文章論 への動き	1974	9	3
12	青木晴夫	大言語学者たち (十七) エドワード・サピア		1976	8	5
13	青木晴夫	ことばの時間論 アメリカインディアン の時間表現	〈ネズパース語の 時と相〉	1976	12	5
14	青木晴夫	ネズパース族の民話 (上)		1978	6	7
15	青木晴夫	ネズパース族の民話 (中)		1978	7	7
16	青木晴夫	ネズパース族の民話 (下)		1978	8	7
17	青木晴夫	野外調査の言語学 アメリカイン ディアン の言語調査		1978	9	7
18	青木晴夫	言語をもちかえすころみ		1980	1	9
19	青木晴夫	創刊 100 号記念 アメカサ		1980	6	9
20	青木晴夫	図書館の世界 世界図書館めぐり	バンク クロフト 図書館	1980	10	9
21	青柳精三	第三回世界音声学会議について		1976	12	5
22	青山秀夫	母音調和をさぐる 朝鮮語の母音調和		1976	6	5
23	青山秀夫	朝鮮語入門 朝鮮語の音声象徴		1977	9	6
24	赤塚紀子	アメリカ主要大学言語学科紹介 ⑨ シカゴ大学		1979	1	8
25	浅野順一	言葉と聖書 旧約聖書における「ことば」		1972	12	1
26	浅野俊夫	動物のコミュニケーション 類人猿の「言語」習得		1979	9	8
27	浅野俊夫	ことばのしつけ しつけの行動分析	——「アメ」 か「ムチ」か ——	1980	7	9
28	浅野敏夫	言語 動物 人間 霊長類にお		1972	10	1

		けるコミュニケーション研究の 動向				
29	朝比奈誼	言語圏α ことばの書架 現代 フランス語法辞典		1975	9	4
30	足立郁夫	言語空間 読者のページ 「送り がな」はどうなっていくのか		1972	8	1
31	新谷光二	言語空間 読者のページ 『日本 語の誕生』について		1979	1	8
32	新谷光二	言語空間 読者のページ 『日本 語の誕生』について②		1979	3	8
33	新谷光二	[投稿] 印欧語根と日本語の音 韻対応		1979	9	8
34	新谷光二	言語空間 読者のページ 英・ 羅・二百基礎語彙の比較		1979	11	8
35	新谷光二	言語空間 読者のページ 「英・ 羅・二百基礎語彙の比較」の訂正		1979	12	8
36	新谷光二	言語空間 読者のページ ユー ラシア比較言語学		1981	9	10
37	新谷光二	言語空間 読者のページ 「お年 玉」考		1982	3	11
38	アトリエヒラタ	あいさつの言語学 マンガ 世 界のあいさつ		1981	4	10
39	阿部健二	言語圏α ことばの書架 国語 史論集		1978	3	7
40	天野真家	コンピュータと言語 かな漢字変 換のしくみ		1981	10	10
41	綾部裕子	世界の新聞 タイ『サヤーム・ラ ット』紙より		1980	11	9
42	荒木亨	言葉と聖書 聖書の一読者とし て		1972	12	1
43	荒木亨	言語圏α ことばの書架 構造 主義と聖書解釈		1978	2	7
44	荒谷美智	言語空間 読者のページ 「連 載・日本語の作文技術1」をよん で		1975	7	4
45	新谷敬三郎	フォルマリズム——言語と文学 の理論 ロシア・フォルマリズム の展開		1974	3	3
46	有村祐輔	シェイクスピア入門 シェイク スピアと音楽		1981	3	10
47	安西徹雄	シェイクスピア入門 シェイク スピアの劇場空間		1981	3	10
48	安西徹雄	シェイクスピア入門 ハッピ ー・エンドの『リア王』		1981	3	10
49	安西徹雄	シェイクスピア入門 シェイク スピアの時代	——その光 と影	1981	3	10
50	安西徹雄	劇場の言葉		1981	11	10
51	安堂信也	翻訳をめぐる 文学と翻訳		1972	7	1
52	井伊章	言語空間 読者のページ 三つ の言葉		1974	4	3
53	五十嵐岳男	言語空間 読者のページ 「文の		1976	5	5

		構造]				
54	五十嵐岳男	言語空間 読者のページ 再び 「文の構造」について		1976	7	5
55	生田滋	日本神話の起源 ジャワの歴史 書と『古事記』	インドネシ ア神話と日 本神話	1976	1	5
56	井口省吾	ヨーロッパにおけるメタファー 概念の変遷	あとがき	1973	10	2
57	井口省吾	ヨーロッパにおけるメタファー 概念の変遷		1973	10	2
58	井口省吾	モンタギュー文法について		1976	12	5
59	生野俊子	日本語を学ぶ	B・H・チェ ンバーレン 氏の思い出	1977	1	6
60	井桁貞敏	ロシアのことば遊び		1975	2	4
61	池田末則	日本の地名 古代地名の伝承	——明日香 の丘の名義 を探る	1976	7	5
62	池田末則	地名改変のゆきすぎ		1978	9	7
63	池田摩耶子	ことばのかけ橋 日本文化との 接触	——日本語 学習者の場 合——	1974	6	3
64	伊沢紘生	ことばの空間学 サルの音声と 空間との関係		1980	9	9
65	石井正之助	詩と哲学		1973	9	2
66	石井正之助	『不思議の国のアリス』について		1973	10	2
67	石井哲士朗	海外の言語学	——ポーラ ンド——	1978	5	7
68	石井行廣	言語戦争 アメリカの言語戦争		1975	11	4
69	石垣幸雄	辞書の世界 多国語辞典		1980	5	9
70	石垣幸雄	あいさつの言語学 あいさつの 生態学		1981	4	10
71	石川知子	こころの病理と言語 幼児自閉 症にみることばの異常		1976	11	5
72	石川力山	言語圏α ことばの書架 仏教 語源散策		1978	1	7
73	石倉洋一	言語空間 読者のページ 人工 語に正当な評価を!		1975	2	4
74	石倉洋一	言語空間 読者のページ 特集 「国際共通語」を読んで		1975	10	4
75	石田憲二	言語空間 読者のページ 「みれ る」「でれる」はまちがいか		1977	6	6
76	石田憲二	言語空間 読者のページ 助詞 「は」の機能は明示		1978	10	7
77	石田智子	世界の新聞 ギリシア『カスイメ リニ』紙		1980	2	9
78	石平光男	言語空間 読者のページ 「なく する」という言い方		1975	6	4
79	石平光男	言語空間 読者のページ 「よい 辞書の企画を待つ」		1975	7	4
80	イスカンダル・A・チョードリ	日本語と私	——チヨ—	1974	5	3

			ドリ氏の巻 ——			
81	磯部孝	ことばのことば 外来語		1977	7	6
82	磯部孝	ことばのことば 止まる		1978	2	7
83	磯部孝	ことばのことば ゆびはさみ		1978	10	7
84	伊藤栄子	言語空間 読者のページ 幼児の音位転換形について		1981	9	10
85	伊藤公一	言語圏α ことばの書架 カルナップ哲学論集		1977	11	6
86	伊藤清司	日本神話の起源 創世神話	中国神話と日本神話	1976	1	5
87	伊藤直子	ことばのジャーナル 難聴・言語学級の現状と問題点		1979	5	8
88	稲垣宏明	言語空間 読者のページ 西田論文に関して		1977	5	6
89	稲垣吉彦	言語圏α ことばの書架 ことばと文化		1977	2	6
90	稲垣吉彦	言語圏α ことばの書架 現代日本語		1977	3	6
91	稲垣吉彦	漢字と日本人 技術とことば	〈農業用語調査ノートから〉	1977	7	6
92	稲垣吉彦	ことばの暴力 予兆としての流行語		1977	11	6
93	稲垣吉彦	文章論入門 文章の実用性	〈広報紙の記事にみる〉	1978	5	7
94	稲垣吉彦	言語圏α ことばの書架 ことばの昭和史		1978	6	7
95	稲垣吉彦	敬語とはなにか マスコミの皇室敬語		1979	6	8
96	稲垣吉彦	日本語の未来 最近若者語事情		1980	1	9
97	稲垣吉彦	ことばのジャーナル 若者語事情雑報		1980	6	9
98	稲垣吉彦	ことばのしつけ 「べつにー」は許せない		1980	7	9
99	稲垣吉彦	言語生活のたのしみ コマーシャル (CM) のたのしみ		1981	6	10
100	稲垣吉彦	言語圏α ことばの書架 隠語の世界	——集団後へのいざない	1981	10	10
101	稲垣吉彦	言語汚染 流行語の増殖	——「窓ぎわ族」から「窓ぎわのトットちゃん」まで	1982	3	11
102	井上幸和	出版の現状を考える アンケート・読者の声『出版の現状をどう考えるか』	新しい古本	1973	11	2
103	井上忠	なぜ「言語」を問うか 途の灯(とも)としての言葉		1973	4	2
104	井上如	図書館の世界 情報化社会の図		1980	10	9

		書館				
105	井上裕	〔新連載〕エスペラント入門 1 エスペラントのあゆみ		1981	4	10
106	井上裕	〔連載〕エスペラント入門 2 エスペラントのしくみ		1981	5	10
107	井上裕	〔連載〕エスペラント入門 3 エスペラントの組織と活動		1981	6	10
108	井上裕	〔連載〕エスペラント入門 4 エスペラントの文学		1981	7	10
109	井上裕	〔連載〕エスペラント入門 5 人造語と自然語の比較		1981	8	10
110	井上裕	〔連載〕エスペラント入門 6 エスペラント憲法 その他		1981	9	10
111	井之口有一	職人のことば 京扇子職人と京 人形師のことば		1980	4	9
112	伊部正信	ことばのジャーナル 外国人に よる日本語弁論大会		1981	9	10
113	今道友信	ことばのことば 翼のある言葉		1972	4	1
114	今道友信	ことばのことば 激突する言葉 の劇	アイキュロ ス	1972	5	1
115	今道友信	ことばのことば 「正名」と超越		1972	6	1
116	今道友信	ことばのことば 言語の第一機 能		1972	7	1
117	今道友信	ことばのことば 人は言語の中 で生きる		1972	8	1
118	今道友信	ことばのことば 論証による論 争を		1972	9	1
119	今道友信	ことばのことば ラテン語		1972	11	1
120	今道友信	(囲み記事) ことばのことば 言 語からの離脱		1972	12	1
121	今道友信	(囲み記事) ことばのことば 中 世言語学の一断面		1973	1	2
122	今道友信	(囲み記事) ことばのことば 古 代シナの言語学		1973	2	2
123	今道友信	(囲み記事) ことばのことば 落 魄の神		1973	3	2
124	今道友信	(囲み記事) ことばのことば ユ ダヤ思想と言語		1973	4	2
125	今道友信	(囲み記事) ことばのことば 言 語からの客観的表現		1973	5	2
126	今道友信	(囲み記事) ことばのことば 言 語よ驕るなかれ		1973	6	2
127	今道友信	(囲み記事) ことばのことば 言 語と手		1973	7	2
128	今道友信	(囲み記事) ことばのことば 言 語と足		1973	8	2
129	今道友信	(囲み記事) ことばのことば 生 命の充実と未来の喪失		1973	9	2
130	今道友信	(囲み記事) ことばのことば 達 の効用		1973	10	2
131	今道友信	(囲み記事) ことばのことば 言		1973	11	2

		語の形而上学の必要性について			
132	今道友信	(囲み記事) ことばのことば 意味論的解釈学としての語源論	1973	12	2
133	今道友信	(囲み記事) ことばのことば 意味論的遠近法	1974	1	3
134	今道友信	(囲み記事) ことばのことば 試験について	1974	2	3
135	今道友信	(囲み記事) ことばのことば ミューズは記憶の娘	1974	3	3
136	今道友信	日本人論 日本人について	1975	1	4
137	今道友信	言語哲学と普遍性	1977	10	6
138	今村与志雄	中国語をめぐって 黄遵憲の『日本国志』	1974	8	3
139	井村亮之介	言語空間 読者のページ 語源探求での重大な欠落	1978	6	7
140	入江徳郎	ことばのことば マスコミの紋切型	1972	4	1
141	入江徳郎	ことばのことば 方言のおもしろさ	1972	5	1
142	入江徳郎	ことばのことば 故事・熟語のおもしろさ	1972	6	1
143	入江徳郎	ことばのことば 泣かされる送りがない	1972	7	1
144	入江徳郎	ことばのことば 「もののあわれ」の欠如	1972	8	1
145	入江徳郎	ことばのことば アナウンサーのミス	1972	9	1
146	入江徳郎	ことばのことば ことだまの幸おう国	1972	10	1
147	入江徳郎	ことばのことば 繊細な造語感覚	1972	11	1
148	入江徳郎	ことばのことば 高校生の作文	1972	12	1
149	入江徳郎	(囲み記事) ことばのことば 神さまの効用	1973	1	2
150	入江徳郎	(囲み記事) ことばのことば ことばでアタック” 笑味 30分”	1973	2	2
151	入江徳郎	(囲み記事) ことばのことば ところ変わればアクセントも変わる	1973	3	2
152	入江徳郎	(囲み記事) ことばのことば 豪邸庭広池鯉躍	1973	4	2
153	入江徳郎	(囲み記事) ことばのことば 新聞記事における迷表現	1973	5	2
154	入江徳郎	(囲み記事) ことばのことば 視聴者、読者畏るべし	1973	6	2
155	入江徳郎	(囲み記事) ことばのことば 「騎虎の勢いで敗退……」	1973	7	2
156	入江徳郎	(囲み記事) ことばのことば 対句の好きな日本人	1973	8	2
157	入江徳郎	(囲み記事) ことばのことば CMの感染力	1973	9	2
158	入江徳郎	(囲み記事) ことばのことば 切	1973	10	2

		りかえすウイット				
159	入江徳郎	(囲み記事) ことばのことば キ ャッチ・フレーズの味		1973	11	2
160	入江徳郎	(囲み記事) ことばのことば 高 校生の作文		1973	12	2
161	入江徳郎	(囲み記事) ことばのことば	犬について	1974	1	3
162	入江徳郎	(囲み記事) ことばのことば 美 しい言葉について		1974	2	3
163	入江徳郎	ことばのことば 後世・校正・更 正・攻勢		1974	3	3
164	岩崎英二郎	世界の辞書 ドイツ語の辞書		1975	5	4
165	岩田透三	言語空間 読者のページ 翻訳 と日本語の変化		1972	9	1
166	岩田透三	言語空間 読者のページ 訓読 と漢詩		1973	9	2
167	岩立志津夫	幼児言語において発話文法は可 能か?		1979	8	8
168	植村英晴	言語の障害と社会参加 リハビ リテーションについて	——聴覚障 害者の場合 ——	1981	8	10
169	宇尾野逸作	出版の現状を考える アンケー ト・読者の声『出版の現状をどう 考えるか』	出版文化と 外国語教育	1973	11	2
170	ウォレン・A・シブルズ	詩と哲学		1973	9	2
171	ウォレン・A・シブルズ	『不思議の国のアリス』について	——ひとつ の哲学的注 釈——	1973	10	2
172	氏家洋子	言語圏 $\alpha$ ことばの書架 日本 語	——歴史と 構造——	1973	2	2
173	牛島徳次	倉石武四郎先生追悼		1976	1	5
174	内村剛介	翻訳をめぐる 構造のつまず き	——『罪と 罰』日本語版 について——	1972	7	1
175	内村剛介	日本地名研究所設立まで	——谷川健 一のメタモ ルフォーゼ ——	1981	8	10
176	梅津耕作	ことばの遅れ 自閉児とことば の遅れ		1979	7	8
177	江川清	言語圏 $\alpha$ ことばの書架 社会 言語学の課題		1979	3	8
178	江口隆哉	人間的表出について 人間の身 体表現		1973	5	2
179	江沢建之助	往復書簡 ことば・自然・環境		1980	8	9
180	エツコ・オバタ・ライマン	続・バイリンガルへの成長過程	——健(一才 九か月～二 才十か月)の 場合	1981	6	10
181	エム・ウェ・ソフロノフ	中国社会の言語的諸問題		1973	8	2
182	江村裕文	言語空間 読者のページ 日本		1977	7	6

		語系統論の流行について				
183	江村裕文	言語空間 読者のページ 「記号」としての交通信号	1977	9	6	
184	江村裕文	言語空間 読者のページ 再び「交通信号」について	1978	5	7	
185	江村裕文	言語空間 読者のページ コ・ソ・ア・ド?!	1978	6	7	
186	江村裕文	言語空間 読者のページ 語彙体系と習得	1979	12	8	
187	大江三郎	語用論とはなにか 語用論的現象	1980	12	9	
188	大江精三	日本人の脳 日本人の脳と創造性	1978	10	7	
189	大川章哉	ことばのことば 家内?	1977	4	6	
190	大川章哉	ことばのことば 時と場所によって	1977	11	6	
191	大川章哉	ことばのことば 「行く」と「来る」	1978	6	7	
192	大久保敏明	言語空間 読者のページ 朝鮮語特集を読んで	1977	10	6	
193	大沢孝明	言語空間 読者のページ 「サピアと国際補助語」への異論	1979	4	8	
194	大沢彰	言語空間 読者のページ 宇宙時代対話法のこと	1975	3	4	
195	大島新	チョムスキー理論の展開 痕跡理論をめぐって	1977	3	6	
196	大島建彦	あいさつの言語学 あいさつの民俗学	1981	4	10	
197	大島建彦	言語生活のたのしみ 「やまとことば」の伝承	1981	6	10	
198	大曾美恵子	アメリカ主要大学言語学科紹介 ⑩ オハイオ州立大学	1979	2	8	
199	太田朗	ハリディ教授夫妻の来日	1978	8	7	
200	太田朗	意味論入門 変形生成文法における意味論の変遷	1978	12	7	
201	太田朗	創刊 100 号記念 言語と私	1980	6	9	
202	太田朗	言語圏 α ことばの書架 英語の構造 (上・下)	1981	3	10	
203	大塚高信	〈アンケート〉三冊のことばの本 『言語史研究入門』『言語』『文法の原理』	1977	5	6	
204	大塚明郎	【投稿】日本語のローマ字表記を見る観点	——国際問題として、また国内問題として	1975	12	4
205	大東百合子	大言語学者たち 五 J・R・ファース	——荒野に叫ぶ声——	1975	8	4
206	大野晃彦	海外の言語学	——フランス——	1979	6	8
207	大野晃彦	海外の言語学	——フランス——	1980	4	9

208	大野晃彦	チョムスキーと生成文法の現在 ヨーロッパの生成文法	——フランスの コアグラマー研究 を中心として——	1980	11	9
209	大野晃彦	海外の言語学	——フランス——	1980	12	9
210	大野晃彦	海外の言語学 フランス		1981	10	10
211	大浜幾久子	言語空間 読者のページ 三嶋 先生への質問		1981	4	10
212	大浜博	大言語学者たち 八 シャルル・ バイイ		1975	11	4
213	大原信一	海外の日本語教育 中国	——急速に進む日本語 学習	1979	3	8
214	大類雅敏	言語空間 読者のページ 句読 点について		1975	10	4
215	大類雅敏	論文・レポートの書き方 原稿用 紙の使い方と句読法		1981	7	10
216	小瀧昭夫	言語の多様な機能に関する研究 の諸問題	プラグ言語学サークル「第三テーゼ」	1975	4	4
217	緒方健二	コンピューターと言語 図解・コン ピュータのしくみ		1981	10	10
218	おかのあつのぶ	言語空間 読者のページ 象ノ 鼻		1975	5	4
219	おかのあつのぶ	言語空間 読者のページ 象ノ 鼻再説	——大久保 さんに答えて	1975	7	4
220	おかのあつのぶ	言語空間 読者のページ 「象の 鼻」終章	——北原さ んへ	1975	9	4
221	おかのあつのぶ	言語空間 読者のページ かな づかいの実相		1975	10	4
222	おかのあつのぶ	言語空間 読者のページ 「車は 急に止まれる」も両義	——日本語 の作文技術 をめぐって	1976	5	5
223	岡正樹	言語空間 読者のページ 「ある 意味で」の意味		1973	4	2
224	岡正樹	言語空間 読者のページ 動詞 の-ki ru 語尾について		1977	4	6
225	岡正樹	言語空間 読者のページ 「どう ぞお先に」考		1978	2	7
226	岡正樹	言語空間 読者のページ 時間 的接触		1979	5	8
227	岡正樹	言語空間 読者のページ 「右カ レイに左ヒラメ」考		1979	7	8
228	岡正樹	言語空間 読者のページ 人名 の動詞化		1980	2	9
229	岡本明郎	言語空間 読者のページ 「海」 から「機」へ		1977	11	6

230	岡本哲也	言語圏α ことばの書架 適用 文法入門		1978	11	7
231	岡本博	ことばのジャーナル 「日本語学 級」の現状と問題点		1979	2	8
232	岡本博文	質問箱		1981	3	10
233	小川要一	言語空間 読者のページ 「無理 からぬ事」への疑念		1978	8	7
234	荻島崇	世界の新聞 フィンランド『ヘル シンギン・サノマツ』紙		1979	11	8
235	荻野恒一	こころの病理と言語 幻聴と独 語		1976	11	5
236	奥津敬一郎	書 評 Minoru Nakau: Semolementation in Japanese	(『日本語補 文構造論— 変形文学的 解体と再生』)	1973	7	2
237	奥津敬一郎	日本語の主語 主語とは何か	—無主語 文・主語省略 文・有主語文 をめぐって—	1975	3	4
238	奥津敬一郎	言語空間 読者のページ 「舌切 り雀」と「切ラレ与三郎」		1978	5	7
239	奥津敬一郎	言語空間 読者のページ 「湯ヲ 沸カス」か「水ヲ沸カス」か		1978	10	7
240	奥津敬一郎	海外の日本語教育 韓国	—盛況の 蔭にある基 本的問題	1979	3	8
241	奥津敬一郎	言語空間 読者のページ Xに ついて		1979	6	8
242	奥津敬一郎	言語学と国語学 「ダ」の文法	〈「国語学」 「国文法」と 「言語学」〉	1980	2	9
243	奥津敬一郎	にほんぶんぼう招待席 ① 三 上章『象ハ鼻ガ長イ』		1980	2	9
244	奥津敬一郎	にほんぶんぼう招待席 ② 阪 倉篤義『改稿 日本文法の話』		1980	2	9
245	奥津敬一郎	にほんぶんぼう招待席 ③ 大 野晋『日本語の文法を考える』		1980	2	9
246	奥津敬一郎	にほんぶんぼう招待席 ④ 南 不二男『現代日本語の構造』		1980	2	9
247	奥津敬一郎	日本文法のすすめ—2 “せし めたしるこゝ	—学校文法 活用論批判—	1981	2	10
248	奥津敬一郎	言語空間 読者のページ ぐん し・がいし氏を批判する		1981	12	10
249	小倉紀	出版の現状を考える アンケー ト・読者の声『出版の現状をどう 考えるか』	出版への要 望	1973	11	2
250	小此木啓吾	こころの病理と言語 フロイト と無意識のことば		1976	11	5

251	尾関周二	【投稿】ヘーゲルの『論理学』		1977	9	6
252	小津次郎	シェイクスピア入門 シェイクスピアに関する偏見と仮説		1981	3	10
253	小野弘道	表紙		1972	4	1
254	小野弘道	表紙		1972	5	1
255	小野弘道	表紙		1972	6	1
256	小野弘道	表紙		1972	7	1
257	小野弘道	表紙		1972	8	1
258	小野弘道	表紙		1972	9	1
259	小野弘道	表紙		1972	10	1
260	小野弘道	表紙		1972	11	1
261	小野弘道	表紙		1972	12	1
262	小野弘道	表紙		1973	1	2
263	小野弘道	表紙		1973	2	2
264	小野弘道	表紙		1973	3	2
265	小原穰吉	言語空間 読者のページ 「濫觴」の「濫」の意味		1978	11	7
266	小村晶子	言語空間 読者のページ 「みれる」「でれる」について		1977	10	6
<b>【カ行】</b>						
No.	著作者名	著作物タイトル	サブタイトル	掲載号		
				西暦	月	巻
267	加賀谷良平	言語圏α ことばの書架 言声学入門		1973	6	2
268	影本二三夫	言語空間 読者のページ 『基礎日本語』を読んで		1978	3	7
269	影本二三夫	質問箱		1981	2	10
270	鹿児島太郎	言語空間 読者のページ 教室英語寸感		1973	3	2
271	風見良彦	論文・レポートの書き方 企業内レポートを書くとき		1981	7	10
272	粕谷奎三	職人のことば 建具ことば		1980	4	9
273	加藤恭子	ニュー・イングランドの民話(上)		1973	4	2
274	加藤恭子	ニュー・イングランドの民話(中)		1973	5	2
275	加藤恭子	ニュー・イングランドの民話(下)		1973	6	2
276	加藤恭子	アメリカ英語の訛り		1974	6	3
277	加藤ひろき	〈投稿〉日本語表記法の有利性		1979	1	8
278	加藤正隆	暗号への招待 暗号解説		1977	8	6
279	金川欣二	ロマン・ヤーコブソン 〈資料〉ロマン・ヤーコブソン年譜		1976	2	5
280	狩野康比古	動物のコミュニケーション カモメ親子の鳴き声		1979	9	8
281	神尾昭雄	言語 動物 人間 言語の生物学的基礎		1972	10	1
282	神尾昭雄	言語圏α ことばの書架 ことばの哲学		1973	1	2
283	神尾昭雄	言語圏α ことばの書架 幼稚園期の言語発達		1973	1	2
284	神尾昭雄	ことばの獲得と喪失 言語獲得		1973	9	2

		のしくみ				
285	神尾昭雄	ホミニゼーション——人間化への長い道 (一) 言語の発生をめぐって	——一つのスペキュレーション	1974	11	3
286	神尾昭雄	こころの病理と言語 言語理論からみた「言語の異常」	〈言語の概念をめぐって〉	1976	11	5
287	神尾昭雄	言語圏 $\alpha$ ことばの書架 ことばの発遣とその障害		1976	11	5
288	神尾昭雄	チョムスキーの全体像 チョムスキー理論の心理学的側面	〈「知識」としての言語〉	1977	2	6
289	神尾昭雄	数量詞のシンタックス	〈日本語の変形をめぐる論議への一資料〉	1977	8	6
290	神尾昭雄	言語圏 $\alpha$ ことばの書架 日本人の脳	——脳の働きと東西の文化	1978	5	7
291	神尾昭雄	ことばの空間学 「に」と「で」	——日本語における空間的位置の表現	1980	9	9
292	神尾弼春	言語空間 読者のページ 「漢字音とは」に一言		1981	12	10
293	かめいたかし	漫筆 (寄稿) いまを流行の「日本語系統論」を笑う		1981	9	10
294	かめいたかし	下宮忠雄氏に質す		1982	2	11
295	亀井孝	日本語の起源をもとめて (一) 日本語系統論につき、そのたどりきたりしあとをかえりみ、また、そのゆくすえをおもい、すこしく私見をのぶ		1974	1	3
296	亀井孝	大言語学者たち 十三 わかもの文法学徒たち		1976	4	5
297	亀井孝	大言語学者たち 十四 わかもの文法学徒たち (続)		1976	5	5
298	亀井孝	言語空間 読者のページ “舌切れ雀”		1978	6	7
299	亀井孝	言語空間 読者のページ 後世のためにも		1978	8	7
300	亀井孝	言語空間 読者のページ いろはうた		1978	12	7
301	亀井孝	言語空間 読者のページ いまさら赤子の腕をひねる？		1980	1	9
302	亀井孝	言語空間 読者のページ 《Wörter und Sachen》の精神		1980	3	9
303	亀井孝	創刊 100 号記念 言語と私		1980	6	9
304	茅野良男	日本語の諸相 哲学の日本語		1973	1	2
305	柄沢衛	言語空間 読者のページ 「オンッコがデタイ」という表現		1976	9	5
306	河内尚和	言語空間 読者のページ 単位		1977	4	6

		文について				
307	河内尚和	言語空間 読者のページ 「単位文」について		1978	2	7
308	川上泰	言語空間 読者のページ 青は「進め」か		1978	1	7
309	川口順二	海外の言語学 フランス		1982	3	11
310	川崎浩	出版の現状を考える アンケート・読者の声『出版の現状をどう考えるか』	出版界の責任	1973	11	2
311	川崎真治	言語空間 読者のページ 神の語源について		1976	4	5
312	河野芳英	言語空間 読者のページ 日本語教育夏季研修に参加して		1981	10	10
313	川端香男里	なぜ「言語」を問うか リアリズムと言語意識	——翻訳者の感想	1973	4	2
314	川端香男里	ことばあそびの言語学 遊びの言葉・作品の言葉		1978	8	7
315	川本邦衛	世界の新聞 ベトナム『ニャン・ザン』紙より		1982	2	11
316	川本茂雄	【対談】ことばの世界(上)		1972	4	1
317	川本茂雄	【対談】ことばの世界(下)		1972	5	1
318	川本茂雄	解説——ロマン・ヤーコブソンの詩学		1972	6	1
319	川本茂雄	ウィリアム・ブレイクなど 詩人＝画家の言語芸術について		1972	6	1
320	川本茂雄	(囲み記事) フーコーとチョムスキー		1972	8	1
321	川本茂雄	(囲み記事) 分科会「日本語(翻訳と日本語と日本文化との関係)」	日本文化研究会国際会議ルポ	1973	1	2
322	川本茂雄	(囲み記事) トーマス・A・シービオック教授のプロファイル		1973	3	2
323	川本茂雄	セミオティクス(記号学)とその同族語		1973	3	2
324	川本茂雄	フォルマリズム——言語と文学の理論 ヤーコブソンの詩学に寄せて		1974	3	3
325	川本茂雄	ことばのトポロジー アンダーソンの「格の文法」	——その目標と方法	1974	5	3
326	川本茂雄	言語圏α ことばの書架 日本文学における句読法の研究		1975	8	4
327	川本茂雄	フランス語学・一般言語学・国語学	——ガとハに関連して——	1975	10	4
328	川本茂雄	言語圏α ことばの書架 ロマン諸語		1975	12	4
329	川本茂雄	ロマン・ヤーコブソン ヤーコブソンの詩学瞥見		1976	2	5
330	川本茂雄	ロマン・ヤーコブソン (資料) 海外のヤーコブソン		1976	2	5
331	川本茂雄	言語圏α ことばの書架 こと	——言語は	1976	5	5

		ばの芸術	いかにして 文学となる か			
332	川本茂雄	言語圏α ことばの書架 技芸 は難く	—諷刺—	1976	11	5
333	川本茂雄	ことばの時間論 フランス語の 時間表現の基底		1976	12	5
334	川本茂雄	チョムスキーの全体像 チョム スキー主要著作解題	デカルト派 言語学	1977	2	6
335	川本茂雄	チョムスキーの全体像 チョム スキー主要著作解題	言語と精神	1977	2	6
336	川本茂雄	チョムスキーの全体像 チョム スキー主要著作解題	知識と自由	1977	2	6
337	川本茂雄	言語圏α ことばの書架 言語 生活論		1977	3	6
338	川本茂雄	ことばの名著33 バイイ フ ランス語文体論		1977	5	6
339	川本茂雄	〈アンケート〉三冊のことばの本 『言語、その本質発達及び起原』 『言語学概論』		1977	5	6
340	川本茂雄	言語圏α ことばの書架 こと ばの意味	——辞書に 書いてない こと	1979	10	8
341	川本茂雄	ウィーン漢字談義		1980	1	9
342	川本茂雄	ライオンズ博士の公開講義		1980	5	9
343	川本茂雄	創刊100号記念 言語と私		1980	6	9
344	川本茂雄	言語学のエッセンス ロマー ン・ヤーコブソン		1981	5	10
345	川本茂雄	漢字の常識 送り仮名ノート	——『嵯峨野 より』を読む	1981	11	10
346	川本崇雄	言語空間 読者のページ アイ ヌ語と南島語		1977	12	6
347	川本喬	方言をめぐって 方言とともに 五十年		1979	7	3
348	川本喬	言語圏α ことばの書架 Fundamentals of Japanese		1975	6	4
349	菅野謙	日本語の未来 「発音のゆれ」三 十年後		1980	1	9
350	菅野裕臣	朝鮮語入門 ハングル(その構造 と成立)		1977	9	6
351	菅野裕臣	外来語の研究 朝鮮語からの借 用語		1978	2	7
352	菊地繁夫	言語空間 読者のページ ヤー コブソン詩学私見		1976	4	5
353	木崎章光	言語空間 読者のページ 角田 氏の実験への一提案		1978	12	7
354	岸本通夫	比較言語学入門 ユーラシア語 族の可能性	——日本語 と印欧語族	1978	11	7
355	北嶋静江	朝鮮語辞典編纂について(上)		1978	2	7
356	北嶋静江	朝鮮語辞典編纂について(下)		1978	3	7
357	北野徳一	出版の現状を考える アンケー	選ばれた書	1973	11	2

		ト・読者の声『出版の現状をどう考えるか』	物を			
358	北村直司	(囲み記事) ヴィルヘルム・ブッシュの人と作品		1981	4	10
359	北恭昭	日本の辞書 古辞書の歴史		1975	4	4
360	衣笠忠司	言語空間 読者のページ 達「考」		1973	4	2
361	木下富雄	ことばの暴力 レッテル語をめぐって	〈その社会心理学的条件〉	1977	11	6
362	木原研三	言語圏α ことばの書架 英語学大系 13 英語学史/英語学大系 14 言語学史		1976	8	5
363	ギボンズ玲子	言語空間 読者のページ 「清ら」は「清き」と違うのに		1981	8	10
364	金栄一	言語空間 読者のページ 話し手の心理状況によって意味の変わることば		1981	5	10
365	金栄一	言語空間 読者のページ 辞書について		1981	8	10
366	金栄一	言語空間 読者のページ ?! について		1982	3	11
367	金芳漢	印欧学論叢 6 韓国語の系統	——その研究の現状と問題点	1980	11	9
368	金石範	日本語で「朝鮮」が書けるか		1976	10	5
369	串原国穂	言語圏α ことばの書架 マザー・グースの唄	——イギリス 伝承童謡	1972	5	1
370	串原国穂	言語圏α ことばの書架 この道を歩く		1978	5	7
371	久世善男	タテとヨコの日本語 なぜ少ない新聞の横組み		1976	9	5
372	工藤剛	ことばの遅れ ことばの遅れた子と学校		1979	7	8
373	工藤浩	言語圏α ことばの書架 語順と文法		1977	6	6
374	國弘正雄	言語のるつぼ アメリカにおける多言語の実態		1973	3	2
375	國弘正雄	ことばの暴力 言語操作	——アメリカにおける	1977	11	6
376	國弘正雄	アメリカを理解するために (上)		1981	6	10
377	國弘正雄	アメリカを理解するために (下)		1981	7	10
378	國弘正雄	世界の英語 アメリカ英語の活力		1982	2	11
379	久野暲	チョムスキー理論の展開 機能的構文論について		1977	3	6
380	久野暲	“象は鼻が長い” —— 日本語の分析 日本語の主語の特殊性		1977	6	6
381	久野暲	[投稿] アメリカ変換文法研究現状		1977	8	6
382	久野暲	追悼 原田信一 原田信一君の		1979	2	8

		死を悼む				
383	久野能弘	ことばのしつけ ことばの遅れた子供たちへのことばのしつけ		1980	7	9
384	久保田美昭	〔新連載〕言語学者との一時間 1 鈴木孝夫氏		1982	1	11
385	久保田美昭	〔連載〕言語学者との一時間 2 川本茂雄氏		1982	2	11
386	久保田美昭	〔連載〕言語学者との一時間 3 國廣哲彌氏		1982	3	11
387	熊澤善宜	言葉と聖書 現代神学におけることば		1972	12	1
388	栗原裕	言語圏 $\alpha$ ことばの書架 記号人間		1977	7	6
389	黒木敏郎	動物のコミュニケーション 水中動物の情報授受		1979	9	8
390	黒崎宏	ヴィトゲンシュタイン——言語と哲学 ウィトゲンシュタイン紀行		1972	11	1
391	黒崎宏	言語圏 $\alpha$ ことばの書架 経験と言語		1975	9	4
392	黒崎宏	ウィトゲンシュタインとラッセル	——ハイエクの「未刊の草稿」を読んで——	1976	9	5
393	黒崎宏	海外新著紹介 『ルートヴィヒ・ウィトゲンシュタイン』		1979	11	8
394	黒崎宏	言語空間 読者のページ ウィトゲンシュタインの臨終のときの様子について		1979	12	8
395	黒田成幸	(囲み記事) 「あなたがた」		1972	7	1
396	黒田亘	ヴィトゲンシュタイン——言語と哲学 「言語ゲーム」をめぐって		1972	11	1
397	ぐんしがいし	『比較のんせんす辞彙』		1981	11	10
398	郡司正勝	芝居言語 (上)		1973	10	2
399	郡司正勝	芝居言語 (中)		1973	11	2
400	郡司正勝	芝居言語 (下)		1973	12	2
401	慶谷壽信	言語空間 読者のページ 有坂秀世博士の論文について		1982	3	11
402	見坊豪紀	日本の辞書 辞書はどうできているか		1975	4	4
403	小池考利	出版の現状を考える アンケート・読者の声『出版の現状をどう考えるか』	文庫・新書の活用	1973	11	2
404	小池勝利	言語圏 $\alpha$ ことばの書架 茶館	——中国の風土と世界像——	1974	9	3
405	小池勝利	言語圏 $\alpha$ ことばの書架 中国語を学ぶ人へ	——創業の詩	1975	4	4
406	小泉袈裟勝	職人のことば 度量衡のことば		1980	4	9
407	幸田幸太郎	言語空間 読者のページ 「なく		1975	9	4

		す」という言い方				
408	河野六郎	朝鮮語入門 朝鮮語学の勧め		1977	9	6
409	江実	日本語の起源をもとめて (一) アルタイ言語学とオセアニア言語学との接触	——日本語の起源を中心にして——	1974	1	3
410	江実	(囲み記事) 類型額は比較言語学を扶ける——	村山氏「南島言語起源説について」を読んで	1974	3	3
411	五光照雄	言語空間 読者のページ 状態性(+)(-)は時指示と結びつくか		1980	10	9
412	越川洋一	出版の現状を考える アンケート・読者の声『出版の現状をどう考えるか』	出版の現状を考える	1973	11	2
413	小塚信多	言語圏 $\alpha$ ことばの書架 レヴィ=ストロース	——構造と不幸	1975	2	4
414	後藤克己	言語空間 読者のページ 他人事		1978	4	7
415	後藤克己	言語空間 読者のページ 無理からぬ事		1978	7	7
416	後藤克己	言語空間 読者のページ 受身の文についての一の誤解		1980	9	9
417	後藤克己	言語空間 読者のページ 百点満点		1980	11	9
418	後藤克己	言語空間 読者のページ 物価の値上げ		1980	12	9
419	後藤孝夫	遅れている日本文化の紹介		1972	6	1
420	後藤田純生	わらべうた 現代のわらべうた		1979	12	8
421	後藤田純生	「げんこつやま」と「かぼちゃのはな」	——わらべうたの中央化——	1979	12	8
422	五島忠久	母音調和をさぐる スワヒリ語の母音調和		1976	6	5
423	後藤まみ	童話 えのなかのくに		1982	1	11
424	後藤亮介	出版の現状を考える アンケート・読者の声『出版の現状をどう考えるか』	雑音の中のことば	1973	11	2
425	此島正年	日本文法のすすめ—2 日本語の助詞・助動詞		1981	2	10
426	小林裕子	言語圏 $\alpha$ ことばの書架 欧米人が沈黙するとき	——異文化間のコミュニケーション	1981	4	10
427	小林覚	言語空間 読者のページ 「日本語の数詞」について		1974	5	3
428	小林覚	言語空間 読者のページ 活用の小異変?		1978	9	7
429	小林俊彦	言語空間 読者のページ 聴覚障害児のことばに思う		1981	6	10
430	小林英夫	ことばと私 わたしはどうして		1974	4	3

		言語学をみつけたか				
431	小林英夫	ソシユール——現代言語学の原点 日本におけるソシユールの影響		1978	3	7
432	小松初代	言語空間 読者のページ 日本語の動詞について		1978	12	7
433	小松格	言語空間 読者のページ 日本語は混合語か		1978	5	7
434	小松格	言語空間 読者のページ 日本語語源論への疑問		1978	10	7
435	小松格	言語空間 読者のページ 「春雨」の語源は「ほるあめ」か		1979	1	8
436	小松格	言語空間 読者のページ ウズベク語の擬態語		1979	5	8
437	小松格	言語空間 読者のページ 言語学と歴史学の接点		1979	10	8
438	小松格	言語空間 読者のページ 日本語状態動詞の起源		1980	1	9
439	小松格	言語空間 読者のページ 「鉄剣銘文」の読み方		1980	2	9
440	小松格	言語空間 読者のページ 再度「鉄剣銘文」について		1980	7	9
441	小松格	言語空間 読者のページ ロシア語チャイ(茶)はモンゴル語か		1981	2	10
442	小松格	言語空間 読者のページ 再度ロシア語「チャイ」について		1981	5	10
443	小松雅彦	質問箱 「天ぶら」の語源について		1982	2	11
444	小森隆吉	辞書の世界 『アリンズ国辞彙』について		1980	5	9
445	コリン・マン	オーストラリア原住民の言語の研究		1974	6	3
446	近藤四郎	ホミニゼーション——人間化への長い道(二) 直立二足歩行の起源		1974	12	3
447	近藤達夫	日本言語学会第79回大会		1980	1	9
448	近藤達夫	日本言語学会第八十回大会		1980	8	9
449	近藤達夫	日本言語学会第八十一回大会		1981	1	10
450	近藤正夫	ことばのことば 内科と外科		1977	6	6
451	近藤正夫	ことばのことば 温血動物と冷血動物		1978	1	7
452	近藤正夫	ことばのことば バックミラーに見る車名から		1978	8	7
453	金春智子	言語空間 読者のページ 私の「アタマ→シッポ」		1975	3	4
<b>【サ行】</b>						
No.	著作者名	著作物タイトル	サブタイトル	掲載号		
				西暦	月	巻
454	西条貞	方言をみる目	上方落語の	1979	1	8

			場合			
455	西条貞	言語空間 読者のページ 「言いそこないの深層心理」		1979	2	8
456	斎藤興雄	言語圏α ことばの書架 現代言語学の基礎		1972	5	1
457	斎藤修一	ことばのジャーナル 中国日語教師研修代表団の来日		1981	6	10
458	斎藤収三	コンピューターと言語 音声認識はどこまで進んだか		1981	10	10
459	斎藤喜門	言語圏α ことばの書架 世界の作文教育		1974	5	3
460	佐伯哲夫	言語空間 読者のページ 語順の実態から		1976	4	5
461	境則彦	言語空間 読者のページ ハとガについて		1981	12	10
462	境則彦	言語空間 読者のページ 助詞ハについて		1982	3	11
463	堺則彦	言語空間 読者のページ 「ハ」と「ガ」について	『日本文法研究』を読んで	1974	6	3
464	堺則彦	言語空間 読者のページ 「は」と「が」について		1975	2	4
465	堺則彦	言語空間 読者のページ 「日本語の作文技術」を読んで		1976	3	5
466	堺則彦	言語空間 読者のページ 助詞「は」について		1976	7	5
467	榊原昭二	職人のことば 新聞のことば		1980	4	9
468	榊原昭二	ことばのジャーナル 若者語事情雑報		1980	6	9
469	榊原昭二	ことばのことば ハブニング解散		1980	10	9
470	榊原昭二	ことばのことば シルバーシート		1980	11	9
471	榊原昭二	ことばのことば 擬音語とマンガ		1980	12	9
472	榊原昭二	ことばのことば TPO		1981	1	10
473	榊原昭二	ことばのことば 二人の残したことば		1981	2	10
474	榊原昭二	ことばのことば 新語の生みの親		1981	3	10
475	榊原昭二	世相語散歩・8 1	1月	1981	4	10
476	榊原昭二	世相語散歩・8 1	2月	1981	5	10
477	榊原昭二	世相語散歩・8 1	3月	1981	6	10
478	榊原昭二	世相語散歩・8 1	4月	1981	7	10
479	榊原昭二	世相語散歩・8 1	5・6月	1981	8	10
480	榊原昭二	世相語散歩・8 1	7月	1981	9	10
481	榊原昭二	世相語散歩・81	8月	1981	10	10
482	榊原昭二	世相語散歩・8 1	9月	1981	11	10
483	榊原昭二	世相語散歩・8 1	10月	1981	12	10
484	榊原昭二	世相語散歩・8 1	11月	1982	1	11

485	榊原昭二	世相語散歩・81	12月	1982	2	11
486	榊原昭二	世相語散歩・82	1月	1982	3	11
487	坂口頼孝	言語空間 読者のページ 五十嵐氏の「文の構造」反論に疑問		1976	7	5
488	坂口頼孝	言語空間 読者のページ 私見 「車は急には止まらない」		1976	12	5
489	坂口頼孝	言語空間 読者のページ ハ・ガ私見		1982	1	11
490	阪直	言語空間 読者のページ エスペラントの「嘘」「虹」など		1979	3	8
491	坂本百大	ことばの名著33 オースティン 言語と行為のかかわり		1977	5	6
492	坂本百大	現代哲学と言語 心身問題と言語		1977	12	6
493	佐久間徹	世界の新聞 インドネシア『コンパス』紙より		1981	11	10
494	桜井英雄	言語の障害と社会参加 就職と社会の理解	——聴覚障害者を中心に——	1981	8	10
495	桜井英雄	言語の障害と社会参加 身体障害者雇用促進法について		1981	8	10
496	佐倉朔	ホミニゼーション——人間化への長い道(一) ネアンデルタール人の生活		1974	11	3
497	佐々木純一	言語圏 $\alpha$ ことばの書架 ルソーとその時代	——文学的思想史の試み	1973	8	2
498	佐々木英樹	出版の現状を考える アンケート・読者の声『出版の現状をどう考えるか』	すぐ絶版にしないで	1973	11	2
499	佐藤健	音の認知の自動処理	——東北地方の学生について角田理論の基礎を確かめる——	1981	9	10
500	佐藤茂	出版の現状を考える アンケート・読者の声『出版の現状をどう考えるか』	いくつかの要望	1973	11	2
501	佐藤茂	言語空間 読者のページ 〈辞書を引いてくれない〉		1980	7	9
502	佐藤進	海外の言語学	——中国——	1980	1	9
503	佐藤進	海外の言語学	——中国——	1981	2	10
504	佐藤信正	言語圏 $\alpha$ ことばの書架 手紙のいろいろ		1981	8	10
505	佐藤好正	言語空間 読者のページ ネパールの一方言の数詞		1980	1	9
506	真田信治	「言語社会学と方言意識」	ネウストプニー氏の研	1976	3	5

			究をきく			
507	佐野泰彦	ヨーロッパとブラジルのポルトガル語	——その文化的背景	1981	6	10
508	サンニョアイノ (豊岡)	言語汚染 アイヌ語	——日本語に汚染された言葉	1982	3	11
509	塩島俊雄	世界の英語 中国の英語		1982	2	11
510	塩田洋子	言語圏 $\alpha$ ことばの書架 機能言語学		1981	10	10
511	志田俊	言語空間 読者のページ 偽装語は大はやり		1973	4	2
512	志田俊	言語空間 読者のページ 現代謙讓語の退化	——丁寧語へ	1975	7	4
513	志田俊	言語空間 読者のページ 日本語ブームを考える		1975	9	4
514	志田俊	言語空間 読者のページ 流行語と時代相と		1975	12	4
515	志田俊	言語空間 読者のページ 教師と敬語		1976	1	5
516	志田俊	言語空間 読者のページ 外来語と漢語		1976	7	5
517	志田俊	言語空間 読者のページ 「てほしい」と「てもらいたい」		1976	9	5
518	志田俊	言語空間 読者のページ タテ書き・タテ組みと慣れ		1976	10	5
519	志田俊	言語空間 読者のページ 接尾語「的」考		1977	6	6
520	志田俊	言語空間 読者のページ ニュース速報の分析		1978	5	7
521	志田俊	言語空間 読者のページ 小股の切れ上がった女		1978	10	7
522	志田俊	言語空間 読者のページ 「ぬ」の退潮		1978	11	7
523	七字慶紀	書評 ヘルダー『言語起源論』	(木村直司訳)	1972	10	1
524	柴田省三	言語圏 $\alpha$ ことばの書架 現代ドイツ意味理論の源流		1976	3	5
525	柴田武	第12回「国際オノマスティックス会議」		1976	1	5
526	柴田武	大言語学者たち 十二 J・ジリエロン	言語地理学の創始者	1976	3	5
527	柴田武	母音調和をさぐる 母音調和について		1976	6	5
528	柴田武	言語圏 $\alpha$ ことばの書架 山口福岡両県接境地域言語地図集		1976	7	5
529	柴田武	命名 命名の言語学		1977	1	6
530	柴田武	〔鼎談〕日本語の将来		1977	1	6
531	柴田武	〈アンケート〉三冊のことばの本『一般言語学講義』『言語地理学のために』『古代国語の音韻について』		1977	5	6
532	柴田武	日本語の語源 生きている語源		1978	1	7

533	柴田武	野外調査の言語学 野外言語学の方法		1978	9	7
534	柴田武	パロールの言語学		1979	5	8
535	柴田武	敬語とはなにか 敬語と敬語研究		1979	6	8
536	柴田武	沖縄宮古語の語彙体系 ①		1980	1	9
537	柴田武	沖縄宮古語の語彙体系 ②		1980	2	9
538	柴田武	沖縄宮古語の語彙体系 ③		1980	3	9
539	柴田武	沖縄宮古語の語彙体系 ④		1980	4	9
540	柴田武	沖縄宮古語の語彙体系 ⑤		1980	5	9
541	柴田武	創刊 100 号記念 『言語』を支える人		1980	6	9
542	柴田武	沖縄宮古語の語彙体系 ⑥		1980	7	9
543	柴田武	沖縄宮古語の語彙体系 ⑦		1980	8	9
544	柴田武	沖縄宮古語の語彙体系 ⑧		1980	9	9
545	柴田武	沖縄宮古語の語彙体系 ⑨		1980	10	9
546	柴田武	沖縄宮古語の語彙体系 ⑩		1980	11	9
547	柴田武	沖縄宮古語の語彙体系 ⑪(最終回)		1980	12	9
548	柴田武	「奈良時代古期日本語と奄美群島加計呂麻島の芝方言との間の歴史的関係」について		1981	4	10
549	柴田正	言語圏α ことばの書架 言語社会学入門		1974	6	3
550	柴谷方良	チョムスキー理論の展開 関係文法とはなにか		1977	3	6
551	柴谷方良	アメリカ主要大学言語学科紹介 ハワイ大学		1978	5	7
552	柴谷方良	アメリカ主要大学言語学科紹介 ② カリフォルニア大学(バークレー校)		1978	6	7
553	柴谷方良	アメリカ主要大学言語学科紹介 ③ スタンフォード大学		1978	7	7
554	柴谷方良	アメリカ主要大学言語学科紹介 ④ カリフォルニア大学(ロサンゼルス校)		1978	8	7
555	柴谷方良	アメリカ主要大学言語学科紹介 ⑤ 南カリフォルニア大学		1978	9	7
556	柴谷方良	アメリカ主要大学言語学科紹介 ⑥カリフォルニア大学(サンディエゴ校)		1978	10	7
557	柴谷方良	言語学と国語学 普遍文法と日本文法		1980	2	9
558	柴谷方良	創刊 100 号記念 『言語』に期待すること		1980	6	9
559	柴谷方良	対照言語学-その理論と現況 日本語は得意な言語か?	——類型論から見た日本語	1981	12	10
560	柴田幸雄	言語空間 読者のページ コトバの変化		1977	2	6

561	清水克裕	言語圏α ことばの書架 日本人と英米人	――身ぶり・行動パターンの比較	1973	3	2
562	清水幾太郎	ことばの暴力 検閲とレトリック		1977	11	6
563	清水克正	言語圏α ことばの書架 初歩 英語音声学		1979	5	8
564	清水克正	言語圏α ことばの書架 初歩 生成音韻論/生成音韻論接近法		1979	6	8
565	清水研明	言語空間 読者のページ 類人猿の「言語」について		1979	8	8
566	清水正	言語空間 読者のページ 「神」と「上」語源論争を読んで		1975	8	4
567	清水康雄	(囲み記事) 海と魚	――行為としての自殺と表出	1973	5	2
568	清水康子	言語の起源 ルソーの言語起源論		1982	1	11
569	清水康行	言語圏α ことばの書架 日本文法要論		1977	8	6
570	清水康行	言語圏α ことばの書架 日本文法学の体系		1977	12	6
571	清水康行	言語圏α ことばの書架 「ボクハウナギダ」の文法		1978	10	7
572	下地良男	南島宮古方言の音韻変化について		1974	7	3
573	下地良男	言語空間 読者のページ 沢木氏へお答え		1975	2	4
574	ジャクリーヌ・ピジョー	日本語と私	――ピジョーさんの巻――	1974	12	3
575	寿岳章子	文章論入門 おもしろい文章		1978	5	7
576	寿岳章子	喜びばかりではない新人名漢字表		1981	12	10
577	朱牟田夏雄	「寝業師」その他		1980	2	9
578	庄垣内正弘	シルクロードのことばと文化 中央アジア言語研究の現状	ウイグル語	1978	7	7
579	ジョン・ハーヴェイ	ニュー・イングランドの民話(上)		1973	4	2
580	ジョン・ハーヴェイ	ニュー・イングランドの民話(中)		1973	5	2
581	ジョン・ハーヴェイ	ニュー・イングランドの民話(下)		1973	6	2
582	白木進	言語空間 読者のページ 日・中が共有する漢字・漢語の使い方の工夫		1973	1	2
583	白木進	言語空間 読者のページ 「はい」と「いいえ」の論理		1975	6	4
584	白坂康俊	言語空間 読者のページ 「車は急にとまれない」について		1978	3	7
585	白根孝之	言語記号と非言語記号(上)		1975	6	4
586	白根孝之	言語記号と非言語記号(中)		1975	7	4
587	白根孝之	言語記号と非言語記号(下)		1975	8	4
588	白山登	暗号への招待 暗号の散歩		1977	8	6

589	辛容泰	韓国漢字音源流考		1981	2	10
590	杉本豊久	世界の英語 黒人英語の特徴		1982	2	11
591	祐安重夫	言語空間 読者のページ 音楽 の時間外構造		1973	7	2
592	鈴木道昭	言語空間 読者のページ 「活 魚」とは		1976	7	5
593	鈴木道昭	言語空間 読者のページ ある 朝刊を調べて思ったこと		1976	10	5
594	鈴木道昭	言語空間 読者のページ こと ばを調べることへの反省		1977	1	6
595	鈴木勇夫	外来語の研究 梵語起源の日本 語彙		1978	2	7
596	鈴木和一	言語圏 $\alpha$ ことばの書架 日本 の言語政策の研究		1973	10	2
597	鈴木武樹	日本語の起源をもとめて (二) 朝鮮渡来人のもたらした言語		1974	2	3
598	鈴木勉	言語圏 $\alpha$ ことばの書架 失語 症		1979	2	8
599	鈴木英夫	日本文法のすすめ—1 佐久間 鼎の文法		1981	1	10
600	鈴木秀夫	北から来た「南方系」		1980	11	9
601	鈴木幹也	言語空間 読者のページ 発音 について		1981	2	10
602	鈴木実	言語圏 $\alpha$ ことばの書架 スコ ットランドの民話		1976	4	5
603	鈴木佑治	アメリカ主要大学言語学科紹介 ⑬ ジョージタウン大学		1979	5	8
604	砂野光生	言語空間 読者のページ 分が ない?用字「旧体制」		1980	2	9
605	砂野光生	言語空間 読者のページ 何故 「聴こえる」のか?		1980	10	9
606	砂野光生	言語空間 読者のページ 天に まします父・母神		1980	12	9
607	砂野光生	言語空間 読者のページ 「バカ 殿」はほめ言葉 ほか		1981	10	10
608	砂野光生	言語空間 読者のページ 〈シ ナ〉と〈中国〉		1981	11	10
609	砂野光生	言語空間 読者のページ 郷里 奈良の方言		1981	12	10
610	関根通規	言語空間 読者のページ 我が 国の色彩語		1973	4	2
611	関根正雄	言葉と聖書 聖書の言語の構造		1972	12	1
612	関根正雄	翻訳の原理 古代文献語の翻訳		1975	6	4
613	関根正雄	〈アンケート〉三冊のことばの本 『詩学の諸問題』『言語学の方法』 『人間行動の構造の統合理論と の関連からみた言語』		1977	5	6
614	関根正雄	言葉と名		1981	5	10
615	関野雄	アナのトチリを科学する		1980	9	9
616	千石喬	ことばの名著33 パウル 言 語史の原理		1977	5	6

617	千田太郎	言語圏α ことばの書架 発想 別英語会話教授法		1973	6	2
618	千田太郎	言語圏α ことばの書架 英和 大辞典・第一巻 (A~D)	小学館ラン ダムハウス (全四巻)	1974	3	3
619	千田二郎	言語圏α ことばの書架 かた りべ文化		1979	1	8
620	惣郷正明	辞書の世界 大きい辞書・小さい 辞書	辞書近代化 の歩み	1980	5	9
621	惣郷正明	漢字のデザイン・1	——中国の 古書『百体千 文』から	1981	1	10
622	惣郷正明	漢字のデザイン・2	——宝鼎篆	1981	2	10
623	惣郷正明	漢字のデザイン・3	——鳥跡文	1981	3	10
624	惣郷正明	漢字のデザイン・4	墳書	1981	4	10
625	惣郷正明	漢字のデザイン・3	麟書	1981	5	10
626	惣郷正明	漢字のデザイン・6	転宿篆	1981	6	10
627	惣郷正明	漢字のデザイン・7	天禄文	1981	7	10
628	惣郷正明	漢字のデザイン・8	垂露篆	1981	8	10
629	惣郷正明	漢字のデザイン・9	覆載文	1981	9	10
630	惣郷正明	漢字のデザイン・10	鳥篆	1981	10	10
631	惣郷正明	漢字のデザイン・11	孔方文	1981	11	10
632	惣郷正明	漢字のデザイン・12	貉尾篆	1981	12	10
633	惣郷正明	漢字のデザイン・13	雁字	1982	1	11
634	惣郷正明	漢字のデザイン・14	桜絡文	1982	2	11
635	惣郷正明	漢字のデザイン・15	魚書	1982	3	11
636	蘇徳昌	敬語とはなにか 揺れる中国語 の敬語		1979	6	8
637	蘇徳昌	ことばのジャーナル 中国言語 学界の新しい動き		1980	10	9
<b>【タ行】</b>						
No.	著作者名	著作物タイトル	サブタイト ル	掲載号		
				西暦	月	巻
638	田井安曇	(囲み記事) 工房ノート 十三 表現の渚		1973	4	2
639	田井安曇	(囲み記事) 工房ノート 十四 かの人—の存在		1973	5	2
640	田井安曇	(囲み記事) 工房ノート 十五 私詩考		1973	6	2
641	田井安曇	(囲み記事) 工房ノート 十六 非日本語派		1973	7	2
642	田井安曇	(囲み記事) 工房ノート 十七 物語的な歌		1973	8	2
643	田井安曇	(囲み記事) 工房ノート 十八 海の歌		1973	9	2
644	田井安曇	言語圏α ことばの書架 言語 と表現	萬葉集講座 第三巻	1973	9	2
645	田井安曇	(囲み記事) 工房ノート 十九 砂青き上		1973	10	2

646	田井安曇	(囲み記事) 工房ノート 二十 歌の発生		1973	11	2
647	田井安曇	(囲み記事) 工房ノート 二十一 雪の旗		1973	12	2
648	田井安曇	(囲み記事) 工房ノート 二十二 歌の x		1974	1	3
649	田井安曇	(囲み記事) 工房ノート 二十三 病いと鞠歌		1974	2	3
650	田井安曇	(囲み記事) 工房ノート 二十 四・最終回 ある断念		1974	3	3
651	高木和徳	言語空間 読者のページ 科学 者の創造性と言葉		1973	3	2
652	高木貞敬	ことば——この未知なるもの ことばと脳のしくみ	〈ことばは 脳のどこに あるか〉	1977	4	6
653	高木純一	情報の技術と言語		1972	4	1
654	高田淳	言語空間 読者のページ 村山 氏の西田論文論評に関して		1977	3	6
655	高橋潔	質問箱 意味変化について		1981	9	10
656	高橋圭三	言語空間 読者のページ 方言 「しばれる」を考える		1972	7	1
657	高橋圭三	言語空間 読者のページ 日本 語の数詞		1974	1	3
658	高橋圭三	言語空間 読者のページ 「キャ ベツ」と「カイベツ」	——訛音矯 正のひず み?	1977	5	6
659	高橋圭三	言語空間 読者のページ 津軽 地方におけるハ行の古音		1978	7	7
660	高橋圭三	言語空間 読者のページ 『御国 通辞』の形容詞	——「あいら しくない」の 場合	1979	11	8
661	高橋圭三	言語空間 読者のページ 「ガ行 鼻濁音」の後退現象		1980	4	9
662	高橋圭三	言語空間 読者のページ 〈辞書 を引いてくれない〉考		1980	9	9
663	高橋正三	動物のコミュニケーション ゴ キブリは匂いで話す		1979	9	8
664	高橋輝和	言語空間 読者のページ 二つ の誤読		1973	10	2
665	高橋秀俊	ことばのことば moon という 動詞		1977	5	6
666	高橋秀俊	ことばのことば 表示の文章		1977	12	6
667	高橋秀俊	ことばのことば 「満足する」「退 避する」		1978	7	7
668	高橋正子	言語空間 読者のページ 話し ことばにおける「ことば選び」に ついて		1974	10	3
669	高原脩	言語圏 $\alpha$ ことばの書架 こと ばの発達/ことばの諸相		1980	4	9
670	高見壮	言語空間 読者のページ 言葉 として受けとめること		1972	9	1

671	田口恒夫	ことばの遅れ ことばの遅れた 子どもの臨床		1979	7	8
672	田口恒夫	ことばの遅れ ことばの遅れは ふえているか		1979	7	8
673	竹内愨	図書館の世界 世界図書館めぐ り	北京図書館	1980	10	9
674	竹内実	言語 社会 文化 革命とこと ば	——中国語 のばあい	1972	9	1
675	竹崎雅之	言語空間 読者のページ 急患 の訴え		1977	6	6
676	竹崎雅之	言語空間 読者のページ 本誌 に望む		1977	12	6
677	竹崎雅之	言語空間 読者のページ 古典		1979	7	8
678	竹林滋	世界の辞書 アメリカの辞書		1975	5	4
679	竹林滋	大言語学者たち (十六) ダニエル・ ジョーンズ		1976	7	5
680	竹林滋	質問箱 改訂 IPA について		1982	1	11
681	竹端瞭一	【投稿】韓国の漢字(併記)教育 復帰	——一九七 五年度から	1975	6	4
682	竹端瞭一	言語圏 $\alpha$ ことばの書架 諸国 語の混乱と統一		1977	7	6
683	太宰隆	新刊紹介 『言語間の接触』		1977	1	6
684	太宰隆	アフリカーンス語への招待		1977	7	6
685	太宰隆	ナミビアのドイツ語	——ドイツ 領南西アフ リカの言語 的残映	1978	9	7
686	太宰隆	アフリカーンス語言語地図につ いて		1979	4	8
687	太宰隆	世界の新聞 パプア・ニューギ ニア『ワントク』紙より		1980	9	9
688	田島節夫	現代哲学と言語 構造主義と言 語	〈『親族の基 本構造』の邦 訳によせて〉	1977	12	6
689	田島節夫	二つの言語論	——リク ールとレヴィ =ストロース	1978	2	7
690	橘幸男	言語空間 読者のページ 公 害・私害		1972	11	1
691	橘好碩	言語圏 $\alpha$ ことばの書架 記号 学入門		1973	8	2
692	立野美奈子	手話の言語的特性 (上)		1979	6	8
693	立野美奈子	手話の言語的特性 (中)		1979	7	8
694	立野美奈子	手話の言語的特性 (中)		1979	8	8
695	田中於菟彌	文法		1982	2	11
696	田中一彦	言語空間 読者のページ 「白 く」読むこと		1973	4	2
697	田中一彦	出版の現状を考える アンケー ト・読者の声『出版の現状をどう 考えるか』	出版されな いもの	1973	11	2
698	田中研治	出版の現状を考える アンケー	出版界は”大	1973	11	2

		ト・読者の声『出版の現状をどう考えるか』	繁盛”			
699	田中源蔵	創刊号を手にして		1972	6	1
700	田中千禾夫	ことばと私 言葉との出会い		1974	4	3
701	田中裕	言語圏α ことばの書架 論理的視点から		1972	10	1
702	谷沢永一	職人のことば 大阪の職人ことば		1980	4	9
703	谷沢永一	論文・レポートの書き方 私の卒業論文	行き当たりばったり	1981	7	10
704	谷泰	言語 社会 文化 言語と文化	——成分分析をめぐって——	1972	9	1
705	田上隆司	手話の言語的特性 (上)		1979	6	8
706	田上隆司	手話の言語的特性 (中)		1979	7	8
707	田上隆司	手話の言語的特性 (下)		1979	8	8
708	田原薫	質問箱 痕跡理論について		1982	2	11
709	田総武光	ことばの転位	——言い間違いの分析	1981	7	10
710	玉井俊紀	海外の言語学	——イギリス——	1976	4	5
711	玉井俊紀	海外の言語学	——イギリス——	1976	10	5
712	玉井俊紀	海外の言語学	——イギリス——	1977	5	6
713	玉井俊紀	海外の言語学	——イギリス——	1977	12	6
714	玉井俊紀	海外の言語学	——イギリス——	1979	2	8
715	玉木英彦	異字同訓をこれ以上ふやさないために		1980	5	9
716	田村敬蔵	出版の現状を考える アンケート・読者の声『出版の現状をどう考えるか』	検閲制の復活を	1973	11	2
717	田村克己	日本神話の起源 “日本神話の起源、史		1976	1	5
718	田村克己	日本神話の起源 日本神話文献資料		1976	1	5
719	田村卓	質問箱 「美しいです」と「きれいです」		1981	4	10
720	千野ズデンカ	ことばのかけ橋 日本語への道		1974	6	3
721	初玉麟	投稿 どころか	——その接続と意味の説明・分類をめぐって——	1981	10	10
722	千代田一郎	言語圏α ことばの書架 英語学と英語教育をめぐって		1978	5	7
723	津木当春	言語圏α ことばの書架 現代舞踊学双書5 フォークダンス	—民族性と舞踊技術	1975	5	4
724	辻四朗	出版の現状を考える アンケート	厳選した出	1973	11	2

		ト・読者の声『出版の現状をどう考えるか』	版を			
725	辻実	言語空間 読者のページ 朝鮮語の北と南		1978	9	7
726	辻星児	日本語の起源をもとめて (二) 「母音調和」について		1974	2	3
727	辻昶	言語戦争 ヴィクトル・ユゴーの「言語戦争」		1975	11	4
728	津田内匠	図書館の世界 世界図書館めぐり	フランス国立図書館	1980	10	9
729	土田滋	世界の辞書 ツォウ語の辞書	——私だけのためのツォウ語集	1975	5	4
730	土田滋	言語圏α ことばの書架 マライ=ポリネシア諸語	——比較と系統	1976	2	5
731	土田滋	第二回アウストロネシア言語学国際会議		1976	7	5
732	土田滋	野外調査の言語学 外国語の現地調査を志す人のために		1978	9	7
733	土屋泰男	言語圏α ことばの書架 正名と狂言		1975	6	4
734	鶴井深	言語圏α ことばの書架 日本語の原景	——日本列島の言語学	1981	11	10
735	寺川央	言語圏α ことばの書架 言語学の問題と方法		1973	7	2
736	寺川央	ことばの名著33 ヴァイスゲルバー 言語と精神形成		1977	5	6
737	寺川央	福本喜之助博士追悼		1981	10	10
738	寺崎英樹	言語空間 読者のページ usted 語源説への疑問		1973	12	2
739	寺津典子	チョムスキーの全体像 チョムスキー主要著作解題	言語についての感想	1977	2	6
740	寺津典子	チョムスキーの全体像 チョムスキー著作一覧		1977	2	6
741	寺津典子	海外新著紹介 『談話における照応現象への形式的アプローチ』		1979	5	8
742	寺津典子	チョムスキーと生成文法の現在 最近のチョムスキー理論のめざすところ	——核文法と空所化——	1980	11	9
743	寺津典子	言語圏α ことばの書架 変形文法の視点		1981	11	10
744	寺村秀夫	日本語の深層 感情表現のシンタクス	——「高次の文」による分析の一例——	1973	2	2
745	寺村秀夫	日本文法のすすめ—1 日本文法のゆくえ		1981	1	10
746	でんでん	言語空間 読者のページ 言葉と感性		1973	4	2
747	土居敏雄	印欧学論叢 4 ケルト語動詞の構造		1980	10	9

748	當作靖彦	外来語の研究 〈資料〉 外来語文献案内		1978	2	7
749	遠山一郎	辞書の世界 フランス語の辞書		1980	5	9
750	徳永宗雄	世界の英語 インドの英語		1982	2	11
751	徳永康元	第4回「フィン・ウゴル学会」		1976	1	5
752	徳永康元	〈アンケート〉 三冊のことばの本 『言語史原理』『言語』『音韻論の基礎』		1977	5	6
753	徳永康元	第三回国際ハンガリー言語学会		1978	2	7
754	徳永康元	図書館の世界 〈座談会〉 図書館とことば		1980	10	9
755	徳成外志子	質問箱 改訂 IPA について		1982	1	11
756	外工敏雄	英和辞典の効用		1977	7	6
757	とごるろすう	出版の現状を考える アンケート・読者の声『出版の現状をどう考えるか』	発行者とはだれか？	1973	11	2
758	鳥羽季義	言語圏 $\alpha$ ことばの書架 新約聖書ギリシャ語辞典		1978	8	7
759	鳥羽季義	言語空間 読者のページ 言語の野外調査体験者として		1978	11	7
760	鳥羽季義	言語圏 $\alpha$ ことばの書架 ことばの人間学		1979	1	8
761	トマス・シービオック	セミオティクス (記号学) とその同族語		1973	3	2
762	富田健次	言語空間 読者のページ ベトナム語の敬語 xin (シン) について		1976	9	5
763	富田健次	言語空間 読者のページ ベトナム語の語順について		1977	2	6
764	富田真紀	言語空間 読者のページ 「角田理論の科学性」		1978	11	7
765	富永道夫	第十回国際人類学・民族学会議		1979	4	8
766	富盛伸夫	ソシユール——現代言語学の原点 もうひとりのソシユール	〈未刊資料から〉	1978	3	7
767	富盛伸夫	海外の言語学	——スイス——	1978	7	7
768	富盛伸夫	世界の新聞 スイス『フーイユ・ラディン』紙		1979	8	8
769	富盛伸夫	言語学の現在 2 ソシユール研究の新展開		1979	11	8
770	富盛伸夫	レト・ロマン語入門 1 レト・ロマン語とアルプスの歴史・風土		1980	1	9
771	富盛伸夫	レト・ロマン語入門 2 レト・ロマン語の特徴と系統 (上)		1980	2	9
772	富盛伸夫	レト・ロマン語入門 3 レト・ロマン語の特徴と系統 (下)		1980	3	9
773	富盛伸夫	レト・ロマン語入門 4 ラディン語文法概説		1980	4	9
774	富盛伸夫	レト・ロマン語入門 5 レト・ロマン語と文化の継承		1980	5	9
775	富盛伸夫	レト・ロマン語入門 6 [最終回]		1980	6	9

		レト・ロマン語文学とその周辺				
776	富盛伸夫	アンリ・フレー死去		1981	3	10
777	友部直	シェイクスピア入門 シェイクスピアと絵画		1981	3	10
778	鳥居次好	世界の英語 韓国の英語		1982	2	11
779	鳥海芳子	言語空間 読者のページ 「もっけ」		1973	8	2
<b>【ナ行】</b>						
<b>No.</b>	<b>著作者名</b>	<b>著作物タイトル</b>	<b>サブタイトル</b>	<b>掲載号</b>		
				西暦	月	巻
780	内藤みどり	シルクロードのことばと文化 シルクロードの歴史		1978	7	7
781	中井悟	言語空間 読者のページ "フイーバー" について		1979	7	8
782	中井悟	言語空間 読者のページ 再び "フイーバー" について		1979	10	8
783	永井成男	真の世界と偽の世界 論理学における真と偽		1974	10	3
784	永井津記夫	言語空間 読者のページ 日本語における否定の接頭辞n		1975	2	4
785	永井津記夫	言語空間 読者のページ ラ変動詞「あり」の終止形について		1975	5	4
786	永井津記夫	言語空間 読者のページ 大野・渡部語源論争をよんで		1975	7	4
787	長尾光之	言語空間 読者のページ 横書き横組みあれこれ		1976	11	5
788	長尾勇	海外の日本語教育 ブラジル	——日語学校とサンパウロ大学日本講座	1979	3	8
789	長尾真	日本語の未来 日本語処理テクノロジーの現状と将来		1980	1	9
790	長尾真	研究集会・「自然言語の論理的分析」	——モンテギュー文法と関連領域——	1981	5	10
791	中澤和夫	言語空間 読者のページ 成句を誤解した者から		1981	3	10
792	長沢光男	ことばのジャーナル 「ビデオディスク」とは		1981	12	10
793	中島恵子	言語生活のためのしみ 呪いの歌		1981	6	10
794	中嶋みゆき	言語空間 読者のページ 可能の助動詞について		1976	10	5
795	中嶋みゆき	言語空間 読者のページ 可能の助動詞について		1977	6	6
796	中嶋康裕	動物のコミュニケーション手段		1979	9	8
797	中田賢次	言語空間 読者のページ 「鼻濁音」考		1977	12	6
798	中田和夫	コンピュータと言語 文字の読み		1981	10	10

		取りはどこまでできるか				
799	長田順行	暗号への招待 日本の暗号調書 (しらべがき)		1977	1	6
800	長田順行	暗号への招待 暗号のメカニズム		1977	4	6
801	長田順行	暗号への招待 近代暗号への道		1977	8	6
802	長田順行	暗号への招待 暗号に挑戦してみよう!		1977	8	6
803	長田順行	暗号への招待 暗号文献案内		1977	8	6
804	長田順行	暗号に挑戦してみよう! 解答		1977	11	6
805	長田順行	言語空間 読者のページ 出題者から		1978	2	7
806	長田順行	新「暗号記法の種類」	〈暗号小説について〉	1979	9	8
807	中田清一	アメリカ主要大学言語学科紹介 ⑧ ミシガン大学		1978	12	7
808	中田清一	海外の日本語教育 アメリカ	——飛躍的な発展	1979	3	8
809	中田信和	言語生活のたのしみ ラジオの向こうの未知の世界		1981	6	10
810	那珂太郎	日本語の正書法 當用漢字・現代(似而非) 假名遣反対		1975	9	4
811	中野幹雄	言語圏α ことばの書架 フッサール	——事象への還帰——	1974	9	3
812	中野暁雄	アラブのことばと文化 モロッコ食物誌	〈あるアラブの娘さんからの聞き書き〉	1980	8	9
813	中野暁雄	世界の新聞 ソマリア『ヒッディグタ・オクトーバル』より		1981	8	10
814	中野道夫	認識と言語について 工学とことば		1973	6	2
815	永野芳郎	「奴婆多麻乃夢」語源考		1976	1	5
816	永野芳郎	比較言語学への再認識		1976	5	5
817	永野芳郎	言語圏α ことばの書架 日本語語源学の方法		1977	3	6
818	永野芳郎	言語空間 読者のページ 古代英語の幽霊語		1980	4	9
819	永野芳郎	辞書の世界 これからの語源辞典に望むこと		1980	5	9
820	中村健	質問箱 イディッシュについて		1981	8	10
821	中村常雄	言語空間 読者のページ ラピスラズリについて		1979	9	8
822	中村徳宜	出版の現状を考える アンケート・読者の声『出版の現状をどう考えるか』	著者と出版者	1973	11	2
823	中村久一郎	ことばのジャーナル 「ワードプロセッサ」とは		1981	7	10
824	中村完	朝鮮語入門 朝鮮語の歴史	〈そのすがたとかたち〉	1977	9	6
825	中村弘光	図書館の世界 世界図書館めぐ	イバダン大	1980	10	9

		り	学図書館			
826	中村弘光	アフリカ・コレクション		1980	10	9
827	中村幸彦	擬擬古文		1981	9	10
828	中村喜和	わらべうた ギリシャのわらべうた		1979	12	8
829	中山聖雨	あいさつの言語学 マンガ 世界のあいさつ		1981	4	10
830	中山真彦	言語圏α ことばの書架 言葉と物	——人文科学の考古学	1974	9	3
831	並木浩一	書評 関根正雄著『イスラエルの思想と言語』『古代イスラエル研究』		1972	12	1
832	成田光夫	言語空間 読者のページ 「自己嫌悪」についての雑感		1973	1	2
833	成田修一	言語圏α ことばの書架 ウエペケレ集大成		1974	8	3
834	成田徹男	日本文法のすすめ—2 文法の種類について		1981	2	10
835	成田徹男	日本文法のすすめ—2 動詞の分類について		1981	2	10
836	成田徹男	日本文法のすすめ—2 補助用言について		1981	2	10
837	成田徹男	質問箱 「美しいです」と「きれいです」		1981	4	10
838	難波俊裕	言語空間 読者のページ 「車は急に止まれない」	——私の文意識	1977	6	6
839	難波みつ	〈投稿〉まだ続く言語戦争	——カナダケベック州に見る——	1978	12	7
840	南里利光	出版の現状を考える アンケート・読者の声『出版の現状をどう考えるか』	教科書の出版	1973	11	2
841	新国誠一	コンクリート・ポエトリー		1973	7	2
842	仁井田益雄	世界の英語 通信社と英語		1982	2	11
843	新津治通	言語空間 読者のページ 「社長・部長・課長の敬語」	——もう一つの考え方——	1975	12	4
844	新妻昭夫	言語研究への招待 比較行動学と言語		1979	4	8
845	新妻昭夫	動物のコミュニケーション イヌのことば・ネコのことば		1979	9	8
846	新妻昭夫	ことばのしつけ 行動の刷り込みと臨界期		1980	7	9
847	新妻昭夫	あいさつの言語学 挨拶	——出会いの儀式化	1981	4	10
848	ニコラ・リュウエ	人間的表出について 音楽学と言語学		1973	5	2
849	西井良一	世界の英語 英語で用の足りる国足りない国		1982	2	11
850	西川勉	言語戦争 東南アジアに進出する日本語と日本人		1975	11	4

851	西田孝	言語空間 読者のページ 国文法の体系化		1977	1	6
852	西田龍雄	国際共通語 漢字をめぐる		1975	8	4
853	西田龍雄	新刊紹介 『古代日本語におけるアルタイ語要素 I』		1976	4	5
854	西田龍雄	日本語の系統を求めて (上)	日本語とチベット・ビルマ語	1976	6	5
855	西田龍雄	日本語の系統を求めて (中)	日本語とチベット・ビルマ語	1976	7	5
856	西田龍雄	日本語の系統を求めて (下)	日本語とチベット・ビルマ語	1976	8	5
857	西田龍雄	ことば——この未知なるもの 古代文字解読のはなし		1977	4	6
858	西田龍雄	日本語の起源を求めて (続)	——日本語とチベット・ビルマ語	1977	5	6
859	西田龍雄	続・日本語の系統を求めて (上)	〈日本語とチベット・ビルマ語〉	1977	10	6
860	西田龍雄	続・日本語の系統を求めて (中)	〈日本語とチベット・ビルマ語〉	1977	11	6
861	西田龍雄	続・日本語の系統を求めて (下)	〈日本語とチベット・ビルマ語〉	1977	12	6
862	西田龍雄	日本語の語源 〈対談〉 日本語の語源について		1978	1	7
863	西田龍雄	シルクロードのことばと文化 中央アジア言語研究の現状	チベット語・西夏語	1978	7	7
864	西田龍雄	珞巴語の系統		1979	7	8
865	西田龍雄	言語学の現在 2 声調発生と言語の変化		1979	11	8
866	西田龍雄	中国の言語と料理 中国少数民族の言語について		1980	3	9
867	西田龍雄	文字解読のはなし 1 中国西南部のロロ文字 (上)		1980	4	9
868	西田龍雄	文字解読のはなし 2 中国西南部のロロ文字 (中)		1980	5	9
869	西田龍雄	創刊 100 号記念 「一徳一心」		1980	6	9
870	西田龍雄	文字解読のはなし 3 中国西南部のロロ文字 (下)		1980	7	9
871	西田龍雄	文字解読のはなし 4 水文字 暦の解読		1980	8	9
872	西田龍雄	文字解読のはなし 5 西夏文字	——組織と運用 (上)	1980	9	9
873	西田龍雄	文字解読のはなし 6 西夏文字	——組織と運用 (下)	1980	10	9
874	西田龍雄	文字解読のはなし 7 女真文	——その成	1980	11	9

		字	立と発展 (上)			
875	西田龍雄	文字解読のはなし 8 女真文字	——その成 立と発展 (下)	1980	12	9
876	西田龍雄	文字解読のはなし 9 契丹文字	——その解 読の新展開 (上)	1981	1	10
877	西田龍雄	文字解読のはなし 10 契丹文字	——その解 読の新展開 (中)	1981	2	10
878	西田龍雄	文字解読のはなし 11 (最終 回) 契丹文字	——その解 読の新展開 (下)	1981	3	10
879	西田龍雄	昆明の寺院について		1981	7	10
880	西田龍雄	漢字の常識 漢字から生まれた 文字	——擬似漢 字	1981	11	10
881	西谷博信	言語圏α ことばの書架 コン サイス外来語辞典 (第2版)		1977	4	6
882	西谷能雄	出版の現状を考える 読者に本 が届くまで	——出版流 通機構の現 状——	1973	11	2
883	奴田原睦明	アラブのことばと文化 エジプ トの現代小説にみる方言		1980	8	9
884	根上剛士	日本の辞書 国語辞典の種類	——現行の ものについ て	1975	4	4
885	野井登	出版の現状を考える アンケ ー ト・読者の声『出版の現状をどう 考えるか』	古今未曾有 の『国語辞 典』を	1973	11	2
886	野家伸也	言語空間 読者のページ 〈は い〉は〈イエス〉か		1975	4	4
887	野口信子	言語圏α ことばの書架 現代 英語学事典		1973	9	2
888	野口信子	言語圏α ことばの書架 現代 敬語辞典		1973	10	2
889	野口信子	言語圏α ことばの書架 誤用 の文法		1974	3	3
890	野口信子	言語圏α ことばの書架 言語 と文化	——言語人 類学の視点 から	1975	1	4
891	野口広	ことばのトポロジー トポロ ジー入門		1974	5	3
892	野口玲子	海外の日本語教育 オーストラ リア	——量から 質の時代へ	1979	3	8
893	野沢克哉	言語の障害と社会参加 聴覚障 害者の社会参加	——アメリ カの場合——	1981	8	10
894	野藤等	質問箱		1981	1	10
895	信原修	言語圏α ことばの書架 日本 のことばとこころ	一言語表現 にひそむ日	1979	10	8

			本人の深層心理をさぐる			
896	野村たみ子	言語圏α ことばの書架 現代の表現思想		1974	7	3
897	野村たみ子	言語圏α ことばの書架 語源散策		1974	12	3
898	野村たみ子	言語圏α ことばの書架 故事成語ことわざ事典		1975	5	4
899	野村知成	言語学とはなにか〈討議・資料篇〉ムートン出版社	特異な世界的言語学出版社	1976	5	5
900	野村知成	五百年目を迎えたオックスフォード大学出版局		1978	7	7
901	のんべえ大学	質問箱 虹はどうしてムシ偏か		1982	3	11
<b>【ハ行】</b>						
No.	著作者名	著作物タイトル	サブタイトル	掲載号		
				西暦	月	巻
902	橋内武道	言語空間 読者のページ 台湾の二言語併用		1976	12	5
903	橋内武道	言語空間 読者のページ 日本語教育と人名		1977	4	6
904	橋内武道	言語空間 読者のページ 外国語教育を考える		1978	9	7
905	橋内武道	言語空間 読者のページ 戦争と中国の学者		1980	5	9
906	橋本萬太郎	中国語をめぐって 中国語の特色	——音韻と方言——	1974	8	3
907	橋本萬太郎	自然言語の類型論と系統論		1975	5	4
908	橋本萬太郎	大言語学者たち 七 モーリス・ハーレ	——公理と定式の音韻論——	1975	10	4
909	橋本萬太郎	東アジア・東南アジア言語学国際会議	——第一回日米文化教育協同セミナー——	1976	10	5
910	橋本萬太郎	ことばの時間論 自然言語と時間の表現		1976	12	5
911	橋本萬太郎	チョムスキーの全体像 チョムスキーの人物像と知的環境		1977	2	6
912	橋本萬太郎	東干語をたずねて (一) 東干族とその言語		1977	4	6
913	橋本萬太郎	〈アンケート〉三冊のことばの本『言語と記号システム』『言語学入門』『言語・思考・現実界』		1977	5	6
914	橋本萬太郎	東干語をたずねて (二) 東干語の類型地理学的特徴		1977	5	6
915	橋本萬太郎	東干語をたずねて (三・最終回) 東干語の声調と音韻分析の現実		1977	6	6

		性				
916	橋本萬太郎	言語の普遍性について 言語の普遍性		1977	10	6
917	橋本萬太郎	現代博言学 1 不定指示と疑問 (上)		1978	1	7
918	橋本萬太郎	現代博言学 2 不定指示と疑問 (下)		1978	2	7
919	橋本萬太郎	現代博言学 3 完了と過去 (上)		1978	3	7
920	橋本萬太郎	現代博言学 4 完了と過去 (下)		1978	4	7
921	橋本萬太郎	現代博言学 5 比較方法と系統論 (上)		1978	5	7
922	橋本萬太郎	性と数 性と数の本質		1978	6	7
923	橋本萬太郎	現代博言学 6 比較方法と系統論 (下)		1978	7	7
924	橋本萬太郎	現代博言学 7 地域特徴 (上)		1978	8	7
925	橋本萬太郎	現代博言学 8 地域特徴 (下)		1978	9	7
926	橋本萬太郎	現代博言学 9 音形の類型地理 (上)		1978	10	7
927	橋本萬太郎	比較言語学入門 比較方法の問題と限界		1978	11	7
928	橋本萬太郎	現代博言学 10 音形の類型地理 (下)		1978	12	7
929	橋本萬太郎	現代博言学 11 シタと音声 (上)		1979	1	8
930	橋本萬太郎	現代博言学 12 シタと音声 (下)		1979	2	8
931	橋本萬太郎	現代博言学 13 最終回 文学と言語		1979	3	8
932	橋本萬太郎	海外新著紹介 『統辞形態論——言語現象学の研究』		1979	4	8
933	橋本萬太郎	百万人の言語学 X-ING は何と読む？	◆言語記号と非言語記号	1979	5	8
934	橋本萬太郎	世界の新聞 『シユオジ・チィ』紙		1979	6	8
935	橋本萬太郎	ことばの旅 欧亜をさまよう犬と狗	——欧語族とシナ・チベット語族をむすぶ——	1979	8	8
936	橋本萬太郎	言語学の現在 1 言語学の新しい波	〈理性主義と経験主義の統合〉	1979	10	8
937	橋本萬太郎	言語学の現在 2 類型論の視角		1979	11	8
938	橋本萬太郎	日本語の未来 日本語の将来	——言語の世界的統合	1980	1	9
939	橋本萬太郎	中国の言語と料理 中国の言語の分布		1980	3	9
940	橋本萬太郎	中国の言語と料理 ふたつのごろなチャイニーズクックブック		1980	3	9

		ク				
941	橋本萬太郎	創刊 100 号記念 ハチミツ酒とわたし		1980	6	9
942	橋本萬太郎	言語空間 読者のページ パラチンケのはなし		1980	11	9
943	橋本萬太郎	対照言語学-その理論と現況 生成文法から対照研究へ	——現代的な対照研究の背景と課題	1981	12	10
944	橋本萬太郎	投稿 国際言語学会議への期待		1982	3	11
945	長谷川潔	言語圏 $\alpha$ ことばの書架 日英比較表現論		1975	7	4
946	服部四郎	言語と言語学の普遍性		1972	4	1
947	服部四郎	沖縄の言語と文化 急を要する琉球諸方言の記述的研究		1973	8	2
948	服部四郎	第十二回国際言語学会議(昭和五十二年)の日本への招致について		1973	9	2
949	服部四郎	ロマーン・ヤーコブソン〈現代言語学の巨匠〉ヤーコブソンの言語学		1976	2	5
950	服部四郎	母音調和をさぐる 上代日本語の母音体系と母音調和		1976	6	5
951	服部四郎	上代日本語の母音音素は六つであって八つではない		1976	12	5
952	服部四郎	〈アンケート〉三冊のことばの本『音声学入門』『言語の歴史』『19世紀の言語科学』		1977	5	6
953	服部四郎	日本祖語について 1		1978	1	7
954	服部四郎	日本祖語について 2		1978	2	7
955	服部四郎	日本祖語について 3		1978	3	7
956	服部四郎	アルタイ諸言語・朝鮮語・日本語の母音調和		1978	4	7
957	服部四郎	日本祖語について 4		1978	6	7
958	服部四郎	日本祖語について 5		1978	7	7
959	服部四郎	日本祖語について 6		1978	8	7
960	服部四郎	日本祖語について 7		1978	9	7
961	服部四郎	日本祖語について 8		1978	10	7
962	服部四郎	日本祖語について 9		1978	11	7
963	服部四郎	日本祖語について 10		1978	12	7
964	服部四郎	日本祖語について 11		1979	1	8
965	服部四郎	日本祖語について 12		1979	2	8
966	服部四郎	日本祖語について 13		1979	3	8
967	服部四郎	日本祖語について 14		1979	4	8
968	服部四郎	日本祖語について 15		1979	5	8
969	服部四郎	日本祖語について 16		1979	6	8
970	服部四郎	日本祖語について 17		1979	7	8
971	服部四郎	日本祖語について 18		1979	8	8
972	服部四郎	日本祖語について 19		1979	9	8

973	服部四郎	日本祖語について 20		1979	10	8
974	服部四郎	日本祖語について 21		1979	11	8
975	服部四郎	日本祖語について 22 (最終回)		1979	12	8
976	服部四郎	創刊 100 号記念 大修館発行の月刊『言語』のルーツ		1980	6	9
977	服部四郎	金田一春彦君への質問とお願い		1980	6	9
978	服部四郎	柴田武君の奈良時代日本語八母音音素説を駁す		1981	2	10
979	服部四郎	本誌前号所載の拙論への補説		1981	3	10
980	服部四郎	柴田武君へのお答え		1981	5	10
981	服部四郎	「柴田武君へのお答え」(本誌本年五月号の拙論)への注		1981	11	10
982	浜名優美	言語圏α ことばの書架 記号学		1972	8	1
983	浜名優美	言語圏α ことばの書架 J・J・ルソー=透明と障害		1973	12	2
984	浜名優美	言語圏α ことばの書架 沈黙の言語		1976	12	5
985	林良男	言語空間 読者のページ 「比べる」と「たとえる」		1979	5	8
986	林栄一	大言語学者たち 九 ルイス・イエエルムスレウ	——言理学の成立をめぐる——	1975	12	4
987	林栄一	新刊紹介 『音声学大辞典』		1976	10	5
988	林栄一	名著解題 イェエルムスレウ 言語理論序説		1977	5	6
989	林栄一	〈アンケート〉三冊のことばの本 『音韻論』『言語理論序説』『文法の構造』		1977	5	6
990	林栄一	サピアの言語論 サピアの音韻論		1979	2	8
991	林栄一	言語学のエッセンス ルイス・イエエルムスレウ		1981	5	10
992	早島鏡正	仏教とことば 念仏について		1973	12	2
993	原口庄輔	言語空間 読者のページ 発明・発見雑考		1972	11	1
994	原口庄輔	否定の磁場	「車は急に止れない」をめぐる	1976	8	5
995	原口庄輔	チョムスキーの全体像 チョムスキー主要著作解題	文法理論の諸相	1977	2	6
996	原口庄輔	チョムスキー理論の展開 標準理論から拡大標準理論へ		1977	3	6
997	原口庄輔	“象は鼻が長い” ——日本語の分析 「車は急に止まらない」の文法性	〈否定の磁場再訪〉	1977	6	6
998	原口庄輔	海外の言語学	——アメリカ——	1977	6	6
999	原口庄輔	言語圏α ことばの書架 英語学論集	——伝統主義と新言語	1977	8	6

			学			
1000	原口庄輔	変形文法理論研究の二大潮流		1977	9	6
1001	原口庄輔	言語圏α ことばの書架 現代英語文法	——大学編	1977	10	6
1002	原口庄輔	海外の言語学	——アメリカ——	1977	11	6
1003	原口庄輔	言語圏α ことばの書架 言語理論と言語教育		1978	1	7
1004	原口庄輔	言語圏α ことばの書架 現代英語文法	——コミュニケーション編	1978	1	7
1005	原口庄輔	海外の言語学	——アメリカ——	1978	4	7
1006	原口庄輔	日本語の命令文	——言語文化研究の試み——	1978	5	7
1007	原口庄輔	ICU 冬期言語学セミナー		1978	5	7
1008	原口庄輔	言語圏α ことばの書架 生成意味論研究	——英語述語の概念構造	1978	7	7
1009	原口庄輔	言語圏α ことばの書架 日本語の文法規則		1978	9	7
1010	原口庄輔	海外の言語学	——アメリカ——	1978	10	7
1011	原口庄輔	言語圏α ことばの書架 非変形文法論	——娘依存の理論	1978	12	7
1012	原口庄輔	海外の言語学	——アメリカ——	1979	1	8
1013	原口庄輔	言語圏α ことばの書架 新しい聞き手の文法		1979	1	8
1014	原口庄輔	海外の言語学	——アメリカ——	1979	5	8
1015	原口庄輔	海外の言語学	——アメリカ——	1979	9	8
1016	原口庄輔	言語学の現在 1 変形文法家の最近の理論展開		1979	10	8
1017	原口庄輔	海外の言語学	——アメリカ——	1980	1	9
1018	原口庄輔	最初と最後		1980	3	9
1019	原口庄輔	辞書の世界 逆引辞典の効用		1980	5	9
1020	原口庄輔	海外の言語学	——アメリカ——	1980	6	9
1021	原口庄輔	言語圏α ことばの書架 生成音韻論		1980	7	9
1022	原口庄輔	海外の言語学	——アメリカ——	1980	9	9
1023	原口庄輔	言語圏α ことばの書架 日英語比較講座第2巻 文法		1980	9	9
1024	原口庄輔	チョムスキーと生成文法の現在 核心文法とはなにか		1980	11	9
1025	原口庄輔	チョムスキーと生成文法の現在		1980	11	9

		チョムスキー理論小辞典				
1026	原口庄輔	言語圏 $\alpha$ ことばの書架 毛利 可信教授退官記念論文集		1980	12	9
1027	原口庄輔	海外の言語学	——アメリカ——	1981	2	10
1028	原口庄輔	質問箱		1981	3	10
1029	原口庄輔	言語圏 $\alpha$ ことばの書架 Aspects of Interrogative Structure : A Case Study from English and Japanese		1981	3	10
1030	原口庄輔	海外の言語学 アメリカ		1981	6	10
1031	原口庄輔	言語圏 $\alpha$ ことばの書架 文法 の理解		1981	7	10
1032	原口庄輔	M・ハレ「インスティテュート・ プロフェッサー」に		1981	8	10
1033	原口庄輔	海外の言語学 アメリカ		1981	10	10
1034	原口庄輔	海外新著紹介 ノーム・チョムス キー著『統率と束縛をめぐる講』		1982	1	11
1035	原口庄輔	海外の言語学 アメリカ		1982	2	11
1036	原二郎	言語空間 読者のページ 否定 構文における quite の問題		1982	2	11
1037	原二郎	言語空間 読者のページ 再び not quite について		1982	3	11
1038	原田健太郎	日本語と中国語・同形異義語考 ①		1979	7	8
1039	原田健太郎	日本語と中国語・同形異義語考 ②		1979	8	8
1040	原田健太郎	日本語と中国語・同形異義語考 ③		1979	9	8
1041	原田健太郎	日本語と中国語・同形異義語考 ④		1979	10	8
1042	原田健太郎	日本語と中国語・同形異義語考 ⑤		1979	11	8
1043	原田健太郎	日本語と中国語・同形異義語考 ⑥		1979	12	8
1044	原田健太郎	日本語と中国語・同形異義語考 ⑦		1980	1	9
1045	原田健太郎	日本語と中国語・同形異義語考 ⑧		1980	2	9
1046	原田健太郎	日本語と中国語・同形異義語考 ⑨		1980	3	9
1047	原田健太郎	日本語と中国語・同形異義語考 ⑩		1980	4	9
1048	原田健太郎	日本語と中国語・同形異義語考 ⑪		1980	5	9
1049	原田健太郎	日本語と中国語・同形異義語考 ⑫		1980	6	9
1050	原誠	海外の言語学	——スペイン——	1976	8	5
1051	原誠	海外の言語学	——スペイン——	1977	3	6

1052	原誠	海外の言語学	——スペイン——	1977	9	6
1053	原誠	海外の言語学	——スペイン——	1978	9	7
1054	原誠	辞書の世界 スペイン語の辞書		1980	5	9
1055	原誠	海外の言語学	——スペイン——	1980	5	9
1056	原誠	海外の言語学	——スペイン——	1980	10	9
1057	ハラルト・ヴァインリヒ	(囲み記事) ヨーロッパにおけるメタファー概念の変遷		1973	10	2
1058	半田ツミヨシ	言語空間 読者のページ 畳語はマレイ語にも		1975	2	4
1059	半田ツミヨシ	言語空間 読者のページ 「お」とオランダ語指小語尾		1975	5	4
1060	半田ツミヨシ	言語空間 読者のページ 漢字は効率が高いか		1975	10	4
1061	半田ツミヨシ	言語空間 読者のページ 表記改良にもっと関心を		1976	5	5
1062	半田直次	出版の現状を考える アンケート・読者の声『出版の現状をどう考えるか』	活字の生命	1973	11	2
1063	東信行	語用論とはなにか 辞書と語用論		1980	12	9
1064	比嘉実	沖縄の言語と文化 南島の抒情歌について	——伝承歌謡としての琉歌の考え方を中心に	1973	8	2
1065	匹田軍次	指示詞コ・ソ・アについて		1981	12	10
1066	比毛博	言語空間 読者のページ 論者への批判		1973	8	2
1067	久泉鶴雄	アメリカ主要大学言語学科紹介 ⑬ ジョージタウン大学		1979	5	8
1068	菱沼透	ことばのジャーナル 中国の新しいカリキュラムと教科書		1980	1	9
1069	平川信弘	言語空間 読者のページ 「処女」の誤訳		1974	5	3
1070	平河内健治	言語空間 読者のページ 「もっけ」		1973	8	2
1071	平河内健治	言語空間 読者のページ ディスクジョッキー		1978	3	7
1072	平河内健治	言語空間 読者のページ 骨をうめる覚悟		1978	5	7
1073	平野稔	言語空間 読者のページ 辞書の効用について		1977	11	6
1074	平林幹郎	サピアの言語論 サピア年譜		1979	2	8
1075	平光岩男	言語空間 読者のページ 親族名称の虚構的用法に関する疑問		1975	12	4
1076	蛭沼寿雄	印欧学論叢 2 シケル語について	——古代シケリアの印欧語——	1980	7	9

1077	広井敬吾	言語圏α ことばの書架 都市の敬語の社会言語学的研究	——昭和53年度札幌における敬語調査報告	1981	2	10
1078	深井人詩	図書館の世界 図書館を知るための本		1980	10	9
1079	深津正	日本語の語源 植物和名の語源		1978	1	7
1080	深谷志寿	言語空間 読者のページ 夢を「見る」と「達」について		1973	8	2
1081	深谷志寿	海外の言語学	——ハンガリー——	1978	2	7
1082	深谷志寿	言語空間 読者のページ 母国語と母語		1978	5	7
1083	深谷志寿	言語空間 読者のページ ハンガリー語になった日本語		1980	4	9
1084	深谷志寿	言語空間 読者のページ 英語の(犬の)複数		1980	7	9
1085	福迫陽子	言語の障害と治療 言語発達遅滞		1975	10	4
1086	福島治	『不思議の国のアリス』について		1973	10	2
1087	福地馨	質問箱 痕跡理論について		1982	2	11
1088	福地豊子	言語空間 読者のページ rose ——「花」と「薔薇」		1972	12	1
1089	ブクボエード	文字の旅 1		1974	4	3
1090	ブクボエード	文字の旅 2		1974	5	3
1091	ブクボエード	文字の旅 3		1974	6	3
1092	ブクボエード	文字の旅 4		1974	7	3
1093	ブクボエード	文字の旅 5		1974	8	3
1094	ブクボエード	文字の旅 6		1974	9	3
1095	ブクボエード	文字の旅 7		1974	10	3
1096	ブクボエード	文字の旅 8		1974	11	3
1097	ブクボエード	文字の旅 9		1974	12	3
1098	ブクボエード	文字の旅 10		1975	2	4
1099	ブクボエード	文字の旅 11		1975	3	4
1100	ブクボエード	文字の旅 12		1975	4	4
1101	藤川景	言語空間 読者のページ テンで解せない常用漢字		1981	6	10
1102	藤崎康彦	あいさつの言語学 あいさつの文化人類学		1981	4	10
1103	藤沢伸介	〔連載〕行動理論への招待 (四) 図説・新行動主義	——ガスリー、トールマン、ハル、スキナー——	1973	1	2
1104	藤田佳正	言語空間 読者のページ 「みれる」「でれる」は誤りである		1977	8	6
1105	藤田一美	詩学 古典詩学における言語の位置		1976	3	5
1106	藤田淳	言語空間 読者のページ 藩際意識		1980	9	9
1107	藤野幸雄	図書館の世界 〈座談会〉図書館		1980	10	9

		とことば				
1108	藤村靖	文字をめぐる 漢字の構造		1973	7	2
1109	藤村靖	追悼 原田信一 Shin——原田信一		1979	2	8
1110	藤本良公	漢字と日本人 漢字教育の現場から		1977	7	6
1111	藤吉憲生	言語圏α ことばの書架 生成変形文法入門		1972	9	1
1112	藤吉憲生	言語空間 読者のページ 再び「あなたがた」		1972	10	1
1113	藤吉憲生	言語空間 読者のページ 「ある」と「いる」(そのⅠ)		1975	12	4
1114	藤吉憲生	言語空間 読者のページ 「ある」と「いる」(そのⅡ)		1976	1	5
1115	藤吉憲生	言語空間 読者のページ 「ある」と「いる」(そのⅢ)		1976	3	5
1116	藤原圭介	質問箱 グルジア語・アルメニア語の参考書		1981	5	10
1117	藤原明	言語空間 読者のページ 「日本語の起源を追って」を読み終って		1978	3	7
1118	藤原明	言語空間 読者のページ 下宮氏の「素朴な疑問」に答える		1979	9	8
1119	船田逸夫	言語空間 読者のページ 「——したい」と「——したいね」		1972	11	1
1120	プラグ言語学サークル	言語の多様な機能に関する研究の諸問題	プラグ言語学サークル「第三テーゼ」	1975	4	4
1121	保坂弘司	論文・レポートの書き方 書き方を知るための本		1981	7	10
1122	細川博	言語空間 読者のページ 唱歌の中の促音		1975	2	4
1123	細川博	言語空間 読者のページ 「上代日本語の母音体系について」を拝読して		1976	10	5
1124	歩兵	「芋」と「御璽」	——「新漢字表試案」に思う	1977	3	6
1125	堀内計司	言語空間 読者のページ 変形生成文法と方言		1974	6	3
1126	堀内勝	アラブのことばと文化 遊牧民のことば・定住民のことば	〈住居に関する語義の変容〉	1980	8	9
1127	堀内勝	アラブのことばと文化 コーラン読みとコーラン読誦学		1980	8	9
1128	堀内勝	世界の新聞 サウジアラビア『アル・マディーナ・アル・ムナッワラ』紙より		1981	3	10
1129	堀口委希子	アメリカ主要大学言語学科紹介 ⑬ ジョージタウン大学		1979	5	8
1130	堀直	シルクロードのことばと文化		1978	7	7

		貴山城論争				
1131	本多健	言語空間 読者のページ 言葉の正誤の難しさ		1977	7 6	
1132	本多正久	日本語の起源をめぐって 第一回 探求の基礎		1977	1 6	
1133	本多正久	日本語の起源をめぐって 第二回 カイ自乗検定		1977	2 6	
1134	本多正久	日本語の起源をめぐって 第三回 シフト検定法 (1)		1977	3 6	
1135	本多正久	日本語の起源をめぐって (第四回) シフト検定法 (2)		1977	4 6	
1136	本多正久	日本語の起源をめぐって (第五回) ウラル・アルタイ諸言語その他と日本語		1977	5 6	
1137	本多正久	日本語の起源をめぐって (第六回) ウラル・アルタイ諸言語その他と日本語 (2)		1977	6 6	
1138	本多正久	日本語の起源を追って (第七回) ポリネシア諸語と日本語		1977	7 6	
1139	本多正久	日本語の起源をめぐって 第八回 インドネシア諸語・カンボジア語と日本語		1977	8 6	
1140	本多正久	日本語の起源をめぐって 第九回 モン・クメール諸言語、チベット・ビルマ諸言語と日本語		1977	9 6	
1141	本多正久	日本語の起源をめぐって 第十回 日本語の起源について一応の仮説		1977	10 6	
1142	本多正久	日本語の起源をめぐって 第十一回 インド・イラニアン諸語、シナ・タイ諸語と日本語		1977	11 6	
1143	本多正久	日本語の起源をめぐって 第十二回最終回 新しいモデルの提出		1977	12 6	
1144	本間孝太郎	質問箱 ビルマ・タイ語の文献入手方法について		1981	12 10	
<b>【マ行】</b>						
<b>No.</b>	<b>著作者名</b>	<b>著作物タイトル</b>	<b>サブタイトル</b>	<b>掲載号</b>		
				西暦	月	巻
1145	前島儀一郎	大言語学者たち 二十四・最終回 オットー・イエスペルセン		1977	3	6
1146	前島儀一郎	ことばの名著 33 イエスペルセン 文法の原理		1977	5	6
1147	前島儀一郎	古代北欧の世界 (上) 聖ブレンダン『航海記』	一一六世紀のアメリカ発見 (?)	1980	1	9
1148	前島儀一郎	古代北欧の世界 (中) 酒とベーオウルフ	一一古代ゲルマン族の生活の一面	1980	2	9

1149	前島儀一郎	古代北欧の世界(下) デンマークのアーサー王物語	——ロールフ王と騎士たち	1980	3	9
1150	前島隆宇	西の文化・東の文化 1 個人主義と家族主義		1975	5	4
1151	前島隆宇	西の文化・東の文化 2 ドイツ人の気質		1975	6	4
1152	前島隆宇	西の文化・東の文化 3 キール郊外での生活		1975	7	4
1153	前島隆宇	西の文化・東の文化 4 エチケツト		1975	8	4
1154	前島隆宇	西の文化・東の文化 5 (最終回) 異邦		1975	10	4
1155	前島隆宇	京都のことば 新連載		1979	1	8
1156	前島隆宇	京都のことば 連載②		1979	2	8
1157	前島隆宇	京都のことば 連載③		1979	3	8
1158	前島隆宇	京都のことば 連載④		1979	4	8
1159	前島隆宇	京都のことば 連載⑤		1979	5	8
1160	前島隆宇	京都のことば 連載⑥		1979	6	8
1161	前島隆宇	京都のことば 連載⑦		1979	7	8
1162	前島隆宇	京都のことば 連載⑧		1979	8	8
1163	前島隆宇	京都のことば 連載⑨		1979	9	8
1164	前島隆宇	京都のことば 連載⑩		1979	10	8
1165	前島隆宇	京都のことば 連載⑪		1979	11	8
1166	前島隆宇	京都のことば 連載⑫最終回		1979	12	8
1167	前田護郎	言葉と聖書 沈黙について		1972	12	1
1168	前田護郎	宗教批判と言語批判		1977	5	6
1169	前田利男	こころの病理と言語 妄想と言語		1976	11	5
1170	牧野成一	言語学の最近の動向 生成意味論について		1974	9	3
1171	牧野成一	図書紹介 『人間関係における非言語伝達』		1976	8	5
1172	牧野成一	大言語学者たち (十九) L・ブルームフィールド		1976	10	5
1173	牧野成一	ことばの名著33 ブルームフィールド 言語		1977	5	6
1174	牧野成一	言語の普遍性について 構造言語学から生成文法へ	〈言語の普遍性について〉	1977	10	6
1175	牧野成一	アメリカ主要大学言語学科紹介⑦ イリノイ大学		1978	11	7
1176	牧野成一	言語学の現在2 文化と言語	〈対照言語学的アプローチ〉	1979	11	8
1177	牧野成一	創刊100号記念 100号に寄せて		1980	6	9
1178	牧野成一	ことばの空間学 言語と空間		1980	9	9
1179	牧野成一	言語空間 読者のページ 「一人称」と「拡大エゴ」		1980	12	9

1180	槇浩史	中国の言語と料理 閒談中国菜 (ちゅうごくりょうりのはなし)		1980	3	9
1181	牧雅夫	ことばのトポロジー 物の姿・言語・観念		1974	5	3
1182	梶井迪夫記(“迪”は二点しんにょう)	(囲み記事) 国際学術誌『ポエティカ』の創刊		1974	3	3
1183	益田勝実	日本人と日本語 言霊の思想		1979	1	8
1184	増村久一	言語空間 読者のページ 「わらべうた」の「さんがえし」		1980	1	9
1185	馬瀬良雄	百万人の言語学 物と名の旅行	◆言語地図を読む	1979	5	8
1186	松井芳人	言語空間 読者のページ ある“言い回し”への疑問		1980	11	9
1187	松井栄一	辞書の世界 現在刊行中の国語辞典		1980	5	9
1188	松永玉吉	言語空間 読者のページ 称名念仏は言語か叫声か		1974	4	3
1189	松永玉吉	言語空間 読者のページ ヘルダー言語起源論を読んで		1974	1	3
1190	松永玉吉	言語空間 読者のページ ちななぐちとやまとぐち		1974	7	3
1191	松永玉吉	言語空間 読者のページ 音韻変化の時代相		1976	9	5
1192	松永玉吉	言語空間 読者のページ 越中方言音韻比較のひとつま		1977	7	6
1193	松永玉吉	言語空間 読者のページ ことばは変わる		1978	1	7
1194	松永玉吉	言語空間 読者のページ サ行ハ行音東西くらべ		1981	12	10
1195	松原孝侯	日本神話の起源 「日本神話の系統」奇談		1976	1	5
1196	松本克己	母音調和をさぐる 日本語の母音組織		1976	6	5
1197	松本克己	万葉仮名のオ列甲乙について		1976	11	5
1198	松本克己	印欧学論叢 10 印欧祖語の子音組織	——類型学的考察——	1981	3	10
1199	松本克己	言語学のエッセンス エミール・バンヴェニスト		1981	5	10
1200	松本幹男	ことばあそびの言語学 世界のなぞなぞ	ハンガリーのなぞなぞと諺	1978	8	7
1201	松本幹男	わらべうた ハンガリーのわらべうた		1979	12	8
1202	馬淵和夫	ことばのジャーナル 日本最古の悉曇章と中国請来の悉曇章		1978	12	7
1203	丸山昭二郎	図書館の世界 (座談会) 図書館とことば		1980	10	9
1204	丸山林平	古川柳入門	——時代物・日本の部	1974	11	3
1205	丸山林平	古川柳入門 (中)	——時代物・シナの部	1974	12	3

1206	丸山林平	古川柳入門 (下)	——世話物の部	1975	1	4
1207	三浦勇二	言語空間 読者のページ 日本語の中の左右と右左		1972	9	1
1208	三浦勇二	言語空間 読者のページ 再び左右とみぎひだりについて		1972	11	1
1209	三浦勇二	言語空間 読者のページ 点の存在		1973	10	2
1210	三浦勇二	言語空間 読者のページ 数詞における和漢の交流		1974	1	3
1211	三浦勇二	言語空間 読者のページ 複合語の構成——その二態		1974	6	3
1212	三浦勇二	言語空間 読者のページ 同じ字で作った熟語		1974	10	3
1213	三浦勇二	言語空間 読者のページ 「気」の字の内容	——意味と読みとの関係——	1975	12	4
1214	三浦勇二	言語空間 読者のページ 疊語形式による造語		1979	5	8
1215	三上雅夫	言語圏 $\alpha$ ことばの書架 古フランス語入門		1981	10	10
1216	三上淳	言語圏 $\alpha$ ことばの書架 ことばと国家		1982	3	11
1217	三上徹	質問箱 英語の even の品詞について		1981	11	10
1218	三木安正	ことばの遅れ 精神発達遅滞児とことばの遅れ		1979	7	8
1219	三嶋唯義	言語図式の理論		1973	9	2
1220	三嶋唯義	言語図式の理論 (続)		1976	2	5
1221	三嶋唯義	言語図式の理論 (続々)		1978	2	7
1222	三嶋唯義	言語図式の理論	(結び)	1978	5	7
1223	三嶋唯義	言語空間 読者のページ ピアジェ理論について		1980	12	9
1224	三嶋唯義	言語空間 読者のページ 「ピアジェ理論」について芳賀先生へのお返事		1981	3	10
1225	三嶋唯義	言語空間 読者のページ 「ピアジェ理論の転向」に関する大浜幾久子先生への御答え		1981	5	10
1226	水沢謙一	言語生活のたのしみ 昔ばなしのたのしみ		1981	6	10
1227	水谷宏	世界の新聞 『ア・カムロ』紙		1980	4	9
1228	水谷宏	質問箱 ウェールズ語の口語と文語について		1981	12	10
1229	水野祐	日本語の起源をもとめて (二) 日本民族の起源		1974	2	3
1230	三谷恭之	言語空間 読者のページ 国語問題と「表音主義」		1972	8	1
1231	三橋敦子	世界の新聞 アイルランド『イニュー』紙より		1980	12	9
1232	南不二男	日本を考える 日常会話の構造	——とくにそ	1972	5	1

			の単位について—			
1233	南不二男	オーストラリア人のつきあい		1973	2	2
1234	南不二男	言語圏α ことばの書架 日本語の起源		1973	7	2
1235	南不二男	日本語の主語 『主語』の周辺		1975	3	4
1236	南不二男	言語圏α ことばの書架 三上章論文集		1975	11	4
1237	南不二男	言語学とはなにか〈入門篇〉意味の研究について		1976	4	5
1238	南不二男	言語圏α ことばの書架 現代日本語の語順		1976	6	5
1239	南不二男	『断腸亭日乗』の待遇表現		1979	6	8
1240	南不二男	創刊100号記念 フリの研究		1980	6	9
1241	三原幸久	世界の新聞 スペイン『アヴィ』紙より		1981	10	10
1242	味村重臣	職人のことば コンピュータ屋のことば		1980	4	9
1243	宮清	(十二) 行動理論の応用	——架空広告キャンペーン——	1973	9	2
1244	宮川広幸	言語空間 読者のページ 国語辞典の編集に外国人の参加を望む		1977	8	6
1245	宮川広幸	言語空間 読者のページ 国語力の低下をめぐって		1977	10	6
1246	宮川広幸	言語空間 読者のページ ハトロン紙の原語をめぐって		1978	2	7
1247	宮川広幸	言語空間 読者のページ 辞書改善策		1978	9	7
1248	宮川広幸	言語空間 読者のページ スポーツ英語について	——「フルベース」と「ゲームセット」	1979	1	8
1249	宮川浩二	言語圏α ことばの書架 日英語比較講座・第1巻 音声と形態		1980	10	9
1250	宮川浩二	言語圏α ことばの書架 音声構造と規則性		1981	2	10
1251	宮坂豊夫	意味論入門 場の理論		1978	12	7
1252	宮崎清之	質問箱 ウェールズ語の口語と文語について		1981	12	10
1253	宮地正男	言語圏α ことばの書架 北欧の言語		1974	4	3
1254	宮島達夫	職人のことば 専門語研究の視点		1980	4	9
1255	宮島達夫	言語圏α ことばの書架 ことばと社会生活		1982	1	11
1256	宮田幸一	格助詞と取り立て助詞		1980	12	9
1257	宮田幸一	質問箱 英語のevenの品詞について		1981	11	10
1258	宮田幸一	言語空間 読者のページ 原氏へのお答え		1982	2	11

1259	宮原英種	言語圏α ことばの書架 言語の習得		1980	4	9
1260	宮原英種	ことばのしつけ ことばの発達と言語教育	——主体と環境の相互干渉——	1980	7	9
1261	三好準之助	言語空間 読者のページ ファーバスの主題について		1981	3	10
1262	三好哲司	新刊紹介 『吃音の本質』	——話行為の構造と病理	1975	10	4
1263	牟田口義郎	アラブのことばと文化 アラビア湾かペルシャ湾か		1980	8	9
1264	牟田口義郎	アラブのことばと文化 アラブは一つか		1980	8	9
1265	宗像一郎	言語空間 読者のページ 外国人に日本語を教える		1979	6	8
1266	村井潤一	ことばあそびの言語学 言語獲得と遊び		1978	8	7
1267	村崎恭子	韓国における日本語学習		1977	9	6
1268	村崎恭子	辞書の世界 アイヌ語の辞書		1980	5	9
1269	村田仁	言語空間 読者のページ 帰らざる島		1974	10	3
1270	村田経和	言語学の最近の動向 テクストリングイスティックについて		1974	9	3
1271	村田聖明	世界の英語 日本人と英語		1982	2	11
1272	村松一弥	中国のことば遊び		1975	2	4
1273	村山七郎	言語のるつぼ ソ連における言語の接触の問題		1973	3	2
1274	村山七郎	日本語の起源をもとめて (一) 南島語起源説について		1974	1	3
1275	村山七郎	日本の地名 地名——民族の足跡		1976	7	5
1276	村山七郎	言語学における比較の方法	——西田龍雄氏の比較法と関連して	1977	2	6
1277	村山七郎	西田龍雄氏にたずねる		1977	7	6
1278	村山七郎	言語空間 読者のページ 「鉄剣銘文」の読み方について		1980	4	9
1279	村山七郎	言語空間 読者のページ ロシア語チャイ(茶)はペルシア語起源か		1981	3	10
1280	村山七郎	言語空間 読者のページ 再びロシア語チャイ(茶)について		1981	7	10
1281	室伏靖子	言語 動物 人間 霊長類におけるコミュニケーション研究の動向		1972	10	1
1282	目加田誠	ことばのことば 自分の言葉		1974	4	3
1283	目加田誠	ことばのことば 自分の言葉(続)		1974	5	3
1284	目加田誠	ことばのことば 対偶について		1974	6	3

1285	目加田誠	ことばのことば 三語掾		1974	7	3
1286	目加田誠	ことばのことば 中国の方言		1974	8	3
1287	目加田誠	ことばのことば 会話の翻訳		1974	9	3
1288	目加田誠	ことばのことば ことばのあそび		1974	10	3
1289	目加田誠	ことばのことば 忠義孝		1974	11	3
1290	目加田誠	ことばのことば 柏の樹		1974	12	3
1291	目加田誠	ことばのことば ひとりごと		1975	1	4
1292	目加田誠	ことばのことば 「お」の字の効用		1975	2	4
1293	目加田誠	ことばのことば 差別語		1975	3	4
1294	森明子	手話の言語的特性 (上)		1979	6	8
1295	森明子	手話の言語的特性 (中)		1979	7	8
1296	森明子	手話の言語的特性 (中)		1979	8	8
1297	森有正	【対談】ことばの世界 (上)		1972	4	1
1298	森有正	【対談】ことばの世界(下)		1972	5	1
1299	森梅代	敬語とはなにか 動物の「敬語」	〈霊長類の社会的調整行動〉	1979	6	8
1300	森岡健二	命名 日本人の名前		1977	1	6
1301	森岡健二	日本文法のすすめ—1 松下文法とは		1981	1	10
1302	森岡浩之	言語空間 読者のページ 新助動詞「てる」について		1979	7	8
1303	森薫樹	ことばのジャーナル 「バイオマス」とは		1981	8	10
1304	森山晴之	言語の障害と治療 吃音		1975	10	4
1305	森脇善明	出版の現状を考える アンケート・読者の声『出版の現状をどう考えるか』	大量生産大量消費	1973	11	2
<b>【ヤ行】</b>						
No.	著作者名	著作物タイトル	サブタイトル	掲載号		
				西暦	月	巻
1306	屋形禎亮	世界の辞書 エジプト語象形文字の辞書		1975	5	4
1307	矢川澄子	ことばのことば 腫れた脳		1981	10	10
1308	矢川澄子	ことばのことば おぼえた名前		1981	11	10
1309	矢川澄子	ことばのことば 紳士と淑女と		1981	12	10
1310	矢川澄子	ことばとことば 友と子と		1982	1	11
1311	矢川澄子	ことばのことば 子守りとばあやと看護婦と		1982	2	11
1312	矢川澄子	ことばのことば 救われている子供		1982	3	11
1313	八木複太郎	言語空間 読者のページ 『前向き』考		1972	7	1
1314	八代英太	言語の障害と社会参加 私は障害者ではありません？！		1981	8	10
1315	安田一郎	言語圏α ことばの書架 岩波古語辞典		1975	5	4

1316	安田覚	言語空間 読者のページ 「離婚」に関する言い回し		1977	10	6
1317	安田覚	言語空間 読者のページ 「雇う」について		1978	1	7
1318	安野祐	言語圏α ことばの書架 古典ヒューマニズムの形成		1975	6	4
1319	安野祐	言語圏α ことばの書架 日本人の言語表現		1976	3	5
1320	安野祐	言語圏α ことばの書架 日本語の技術	——私の文章作法	1977	4	6
1321	安野祐	言語圏α ことばの書架 反＝日本語論		1977	9	6
1322	安野祐	言語圏α ことばの書架 日本語の裏方		1978	8	7
1323	安野祐	言語圏α ことばの書架 チンパンジー読み書きを習う		1978	10	7
1324	安野祐	言語圏α ことばの書架 ウィトゲンシュタイン		1978	11	7
1325	安野祐	言語圏α ことばの書架 日本人と日本語		1978	12	7
1326	安野祐	言語圏α ことばの書架 ことばへの道	——言語意識の存在論	1979	2	8
1327	安野祐	言語圏α ことばの書架 記号論の基礎原理		1979	4	8
1328	安野祐	言語圏α ことばの書架 ロラン・バルト		1979	8	8
1329	安野祐	言語圏α ことばの書架 引用の想像力		1979	9	8
1330	安野祐	言語圏α ことばの書架 ことばのくずかご		1980	1	9
1331	安野祐	言語圏α ことばの書架 日本人の表現心理		1980	3	9
1332	安野祐	言語圏α ことばの書架 音・ことば・人間		1980	6	9
1333	安野祐	言語圏α ことばの書架 現代世相語		1980	10	9
1334	安野祐	言語圏α ことばの書架 翻訳の理論		1980	12	9
1335	安野祐	言語圏α ことばの書架 言語の相対性について		1981	6	10
1336	安野祐	言語圏α ことばの書架 レトリック認識		1982	3	11
1337	安野祐	言語圏α ことばの書架 言語学演習' 78		1979	6	8
1338	柳富子	海外の日本語教育 ソ連	——日本学の一環として	1979	3	8
1339	柳富子	図書館の世界 世界図書館めぐり	国立レーニン図書館	1980	10	9
1340	柳原悦郎	(囲み記事) 現代落書のたのしみ	——若者たちの投書か	1981	6	10

			ら			
1341	柳原吉次	言語空間 読者のページ 「生まれる」は「生れる」でもいいか		1972	11	1
1342	柳原吉次	言語空間 読者のページ 「夢を見る」と云う言葉についての夢		1973	4	2
1343	柳原吉次	言語空間 読者のページ 払うと云う言葉		1973	7	2
1344	屋比久浩	沖縄の言語と文化 沖縄の方言について		1973	8	2
1345	山口美智雄	言語空間 読者のページ エスペラント文は読み易いか		1981	10	10
1346	山口幸輔	質問箱 イディッシュについて		1981	8	10
1347	山口敏	ホミニゼーション——人間化への長い道 (一) アウストラロピテクスの生活		1974	11	3
1348	山口幸洋	言語汚染 汚染から崩壊へ	——日本の方言	1982	3	11
1349	山下恵子	動物のコミュニケーション チョウとガの恋人えらび		1979	9	8
1350	山田勝美	漢字と日本人 漢字入門		1977	7	6
1351	山田小枝	言語空間 読者のページ 境界越えとその否定		1981	7	10
1352	山田信夫	シルクロードのことばと文化 ウイグル文書とオアシス農民		1978	7	7
1353	山田秀三	ことばの旅 東北のアイヌ地名の旅		1979	8	8
1354	山田正春	ことばのかけ橋 モノローグとディアローグ	——棲息様式とことばとの関連のなかで	1974	6	3
1355	山中一郎	中国社会の言語的諸問題		1973	8	2
1356	山村ひろみ	言語圏 $\alpha$ ことばの書架 フィンランド語は猫の言葉		1982	2	11
1357	山本忠尚	言語空間 読者のページ 文体分析の意味		1973	5	2
1358	山本格郎	言語空間 読者のページ 軽視されている朝鮮語		1974	4	3
1359	山本茂男	言語圏 $\alpha$ ことばの書架 [シンポジウム] 日本語2 日本語の文法		1975	5	4
1360	山本茂男	言語圏 $\alpha$ ことばの書架 機械の現象学		1976	6	5
1361	山本茂男	言語圏 $\alpha$ ことばの書架 書物語辞典		1977	7	6
1362	山本茂男	言語圏 $\alpha$ ことばの書架 言語・思考・現実	——ウォーフ言語論選集	1979	2	8
1363	山本茂男	言語圏 $\alpha$ ことばの書架 ことばと空間		1979	2	8
1364	山本茂男	言語圏 $\alpha$ ことばの書架 日本語尾音索引	——現代語編	1979	8	8

1365	山本茂男	言語圏α ことばの書架 角川類語新辞典		1981	8	10
1366	山本ススム	言語空間 読者のページ 「論者への批判」への批判		1973	9	2
1367	山本ススム	出版の現状を考える アンケート・読者の声『出版の現状をどう考えるか』	本が高すぎる	1973	11	2
1368	山本巍	言語圏α ことばの書架 根拠よりの挑戦		1974	8	3
1369	山本倅	言語空間 読者のページ 魏志倭人伝中の倭語の人名の新解読		1974	4	3
1370	弓削則之	出版の現状を考える アンケート・読者の声『出版の現状をどう考えるか』		1973	11	2
1371	湯田豊	言語空間 読者のページ Loveについて	——英語教育への一提言——	1974	4	3
1372	ユベール・マエス	日本における品詞類別の発展について		1974	3	3
1373	弓彰	出版の現状を考える アンケート・読者の声『出版の現状をどう考えるか』	出版の拡大と総合化	1973	11	2
1374	横田真知	ニューイングランドの民話(上)		1973	4	2
1375	横田真知	表紙		1973	10	2
1376	横島節子	言語空間 読者のページ 音感と言語旋法について		1978	12	7
1377	横山正	〈座談会〉あいさつ・身体・空間		1981	4	10
1378	吉井孝雄	言語空間 読者のページ 「日本語の起源を追って」への期待		1977	11	6
1379	吉岡正敏	言語空間 読者のページ 「処女」の定義		1973	12	2
1380	吉岡正敏	言語空間 読者のページ どういう風の吹きまわしで…?		1977	1	6
1381	吉岡正敏	言語空間 読者のページ 「名訳」と基本文法		1979	11	8
1382	吉岡正敏	言語空間 読者のページ 「ミラボー橋」の迷訳(?)		1981	2	10
1383	吉岡正敏	言語空間 読者のページ 「ビデ」(bidet)の定義	——表現の節制と明解さの問題	1981	11	10
1384	吉川武時	言語空間 読者のページ 自国語の文法が「役に立たない」のはあたりまえ		1981	3	10
1385	吉川武時	言語空間 読者のページ “役に立つ”の意味		1981	5	10
1386	吉里尚明	言語の障害と社会参加 言語療法士身分制度の新局面		1981	8	10
1387	吉沢典男	外来語の研究 外来語の年輪		1978	2	7
1388	吉沢典男	言語圏α ことばの書架 ことばの情報歳時記		1979	4	8
1389	吉沢典男	辞書の世界 外来語辞典のこと		1980	5	9

		ども				
1390	吉島茂	「日独対照文法」		1975	12	4
1391	吉田敦彦	日本語の起源をもとめて (二) 日本神話の系統について		1974	2	3
1392	吉田敦彦	日本神話の起源 日の御子の神話	印欧神話と 日本神話	1976	1	5
1393	吉田一穂	(囲み記事) 【講演】詩神との 対話		1973	5	2
1394	吉田夏彦	認識と言語について 論理学と ことば		1973	6	2
1395	吉松勉	言語空間 読者のページ 「オー ケーの語源」について		1978	5	7
<b>【ラ・ワ行】</b>						
No.	著作者名	著作物タイトル	サブタイト ル	掲載号		
				西暦	月	巻
1396	樂衛	真の世界と偽の世界 政治の真 実, 報道の虚構		1974	10	3
1397	林彩美	中国の言語と料理 台湾料理と その特徴		1980	3	9
1398	ロイ・A・ミラー	バーナード・ブロックと日本語研 究 (下)		1974	2	3
1399	ロマーン・ヤーコブソン	ウィリアム・ブレイクなど 詩人 =画家の言語芸術について		1972	6	1
1400	若月起生	言語圏 $\alpha$ ことばの書架 自己 表現の技術	——ひとを 動かすもの は何か	1980	12	9
1401	若月起生	言語圏 $\alpha$ ことばの書架 長崎 通詞	——ことば と文化の翻 訳者	1982	3	11
1402	我妻泰	(囲み記事) 工房ノート 一 せ つないことば		1972	4	1
1403	我妻泰	(囲み記事) 工房ノート 二 闇 を渡る		1972	5	1
1404	我妻泰	(囲み記事) 工房ノート 三 歴 史が支える		1972	6	1
1405	我妻泰	(囲み記事) 工房ノート 四 汗 のことば零のことば		1972	7	1
1406	我妻泰	(囲み記事) 工房ノート 五 群 の序		1972	8	1
1407	我妻泰	(囲み記事) 工房ノート 六 藁 のことば		1972	9	1
1408	我妻泰	(囲み記事) 工房ノート 七 マ イナスの正述心緒		1972	10	1
1409	我妻泰	(囲み記事) 工房ノート 八 悪 鬼のごとき		1972	11	1
1410	我妻泰	(囲み記事) 工房ノート 九 見 てしまいたる		1972	12	1
1411	我妻泰	(囲み記事) 工房ノート 十 事 実の辛い楕円		1973	1	2

1412	我妻泰	(囲み記事) 工房ノート 十一 独楽とどまらぬ		1973	2	2
1413	我妻泰	(囲み記事) 工房ノート 十二 太鼓と亡霊		1973	3	2
1414	脇阪豊	語用論とはなにか テクスト理論 と言語実用論		1980	12	9
1415	鷺尾龍一	言語空間 読者のページ 大久 保論文を読んで		1978	10	7
1416	鷺尾龍一	言語空間 読者のページ 大久 保氏のご反論を読んで		1979	1	8
1417	鷺尾龍一	言語空間 読者のページ 大久 保氏との論争を終えるにあたって		1979	3	8
1418	綿谷雪	日本のことば遊び	——早口ことば	1975	2	4
1419	和田利政	新刊紹介 『馬淵和夫博士退官記念 国語学論集』		1981	10	10
1420	渡部叡	タテとヨコの日本語 眼球運動 のタテとヨコ		1976	9	5
1421	渡部真一郎	言語空間 読者のページ 詩的 言語のズレ		1972	8	1
<b>【その他】</b>						
No.	著作者名	著作物タイトル	サブタイトル	掲載号		
				西暦	月	巻
1422	A・J・グレマス	嘘と真実の契約		1976	11	5
1423	アンドレ・ヴロダルチック	主題から主語へ そして 主語 から主題へ	——「ハ」と 「ガ」	1980	8	9
1424	コンラッド・フォルテン	世界の英語 カナダの英語		1982	2	11
1425	K・ダスグプタ	わらべうた インドの "わらべ うた"	ベンガル地 方の子供の 詩	1979	12	8
1426	D・マクファーレン	日本語を学ぶ	B・H・チェ ンバーレン 氏の思い出	1977	1	6
1427	エツコ・オバタ・ライマン	バイリンガルへの成長過程	——健(二〇 か月)の場合 ——	1980	2	9
1428	F・ロドリーゲス・イスキエルド	日本語と私	——イスキ エルド氏の 巻——	1973	12	2
1429	F・パン	日本人論 日本人の心的距離	——その言 語表現の仕 方について	1975	1	4
1430	博明美	ことばのかけ橋 中国と日本		1974	6	3
1431	ゲーオルク・F・マイヤー	世界の言語状況と将来の展望 (上)	——国語・通 商語・少数民 族語の問題 によせて	1981	11	10
1432	ゲーオルク・F・マイヤー	世界の言語状況と将来の展望	——国語・通	1981	12	10

		(下)	商語・少数民族語の問題 によせて			
1433	G・ベデル	チョムスキーの全体像 チョム スキー主要著作解題	言語理論の 論理構造	1977	2	6
1434	ジョージ・スタイナー	書物のあとに？		1975	3	4
1435	Gifu Z	言語空間 読者のページ 英語 クロスワード・パズルについて		1974	11	3
1436	H・ブルーメ	(囲み記事) ドイツにおける音 声学・言語学の現状		1973	12	2
1437	ヘルムート・ホルツ	ウィリアム・ホガース	——版画家 ＝ストーリ ーテラー＝ モラリスト	1974	10	3
1438	J・V・ネウストプニー	言語学とはなにか(入門篇) 社 会言語学入門		1976	4	5
1439	J・O・ガントレット	言語圏 $\alpha$ ことばの書架 ファ ース言語論集II 1942-59		1975	11	4
1440	ジョン・S・コールドウェル	存在表現と所有表現	——会話の なかの文化 と個人	1976	3	5
1441	J・クリステヴァ	ロマン・ヤコブソン 言語学 の倫理性		1976	2	5
1442	L・ブルームフィールド	童話 えのなかのくに		1982	1	11
1443	ニコラ・リュウエ	言語学と詩学	——序説小論 ——	1980	11	9
1444	ノーアム・チョムスキー	チョムスキーの全体像 言語の 本質について		1977	2	6
1445	P・G・オニール	日本語と私	——オニ ール氏の巻 ——	1975	1	4
1446	フィリップ・マンゲ	レトリック研究の現状		1978	11	7
1447	ロベルト・レイス	ブラジル構造主義の新展開	——意味形 成性すなわ ち意味作用 の請負	1979	10	8
1448	ロイ・A・ミラー	バーナード・ブロックと日本語研 究(上)		1974	1	3
1449	ロイ・アンドリュウ・ミラー	何が日本語の系統を不明にした のか？		1977	8	6
1450	S・R・ラムゼイ	日本語のアクセントの歴史的変 化		1980	2	9
1451	T・トドロフ	詩学 現代のレトリック研究		1976	3	5
1452	IO・M・ロートウマン	『芸術テキストの構造』について		1975	11	4